



様式第6号(第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和6年4月12日

袋井市議会議長 鈴木 弘睦 様

会 派 名 自民公明クラブ
代 表 者 名 高木 清隆
経理責任者名 太田 裕介

袋井市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、次のとおり令和5年度政務活動費の収支報告をいたします。

1 収 入 政務活動費 3,000,020 円 (利息20円を含む)

2 支 出

項 目	金 額	備 考
1 調 査 研 究 費	1,217,700 円	岩沼市、山形市視察他
2 研 修 費	174,900	自治体議会特別セミナー他
3 広 報 費	288,754	会派だより印刷折込
4 広 聴 費		
5 要請・陳情活動費		
6 会 議 費		
7 資 料 作 成 費	52,590	コピーカウント料他
8 資 料 購 入 費		
9 人 件 費		
10 事 務 所 費	319,180	コピー機リース料 タブレット端末利用負担金
合 計	2,053,124	

3 残 額 946,896円

(注)備考欄へ主たる支出の内訳を記載するとともに、関係の領収書等を添付すること。

(様 式 1)

令和 5 年度 政務活動費収支明細書

会派名

自民公明クラブ

月 日	項 目	収入額(円)	支出額(円)	差引残額(円)	説 明
	政務活動費 (市より)	3, 000, 000		3, 000, 000	
4月3日	事務所費		14, 904	2, 985, 096	コピー機リース料(4月)
4月12日	事務所費		16, 252	2, 968, 844	会派室用パンチ (穿孔機)
4月20日	資料作成費		5, 551	2, 963, 293	コピーカウント料 (4月)
5月8日	事務所費		14, 904	2, 948, 389	コピー機リース料 (5月)
5月20日	研修費		40, 000	2, 908, 389	議員研修 8 名参加
6月5日	事務所費		14, 904	2, 893, 485	コピー機リース料(6月)
6月20日	資料作成費		5, 513	2, 887, 972	コピーカウント料 (6月)
7月20日	資料作成費		4, 997	2, 882, 975	コピーカウント料 (7月)
8月3日	事務所費		18, 216	2, 864, 759	コピー機リース料 (年額・8月)
8月19日	利息	10		2, 864, 769	
8月21日	資料作成費		2, 833	2, 861, 936	コピーカウント料 (8月)
8月23日	調査研究費		544, 140	2, 317, 796	議員研修 9 名参加
9月20日	資料作成費		3, 257	2, 314, 539	コピーカウント料 (9月)
9月30日	研修費		17, 500	2, 297, 039	議員研修 1 名参加
10月20日	資料作成費		2, 594	2, 294, 445	コピーカウント料 (10月)
10月30日	研修費		84, 900	2, 209, 545	議員研修1名参加
10月30日	研修費		32, 500	2, 177, 045	議員研修1名参加
11月20日	資料作成費		1, 647	2, 175, 398	コピーカウント料 (11月)
12月20日	資料作成費		2, 648	2, 172, 750	コピーカウント料 (12月)
1月22日	資料作成費		7, 792	2, 164, 958	コピーカウント料 (1月)
2月17日	利息	10		2, 164, 968	
2月20日	資料作成費		12, 940	2, 152, 028	コピーカウント料 (2月)
2月21日	調査研究費		316, 350	1, 835, 678	議員研修9名参加
	表計	3, 000, 020	1, 164, 342	1, 835, 678	

(様 式 1)

月 日	項 目	収入額(円)	支出額(円)	差引残額(円)	説 明
3月7日	事務所費		240,000	1,595,678	タブレット端末利用負担金
3月21日	資料作成費		2,818	1,592,860	コピーカウント料 (3月)
3月28日	調査研究費		357,210	1,235,650	議員研修9名参加
3月28日	広報費		288,754	946,896	会派だより印刷折込
	表計	0	888,782	946,896	
	合計	3,000,020	2,053,124	946,896	

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
04-11-04	BF	*14,904	シャープファイナンス	*1,988,656	
04-11-18	BA	*35,740	CD 金利控除(%)	*1,952,916	329
04-11-21	BF	*1,139	ファミイルBI	*1,951,777	
04-12-05	BF	*14,904	シャープファイナンス	*1,936,873	
04-12-16	BA	*47,500	CD 金利控除(%)	*1,889,373	329
04-12-20	BF	*3,934	ファミイルBI	*1,885,439	
05-01-04	BF	*14,904	シャープファイナンス	*1,870,535	
05-01-06	BA	*276,360	CD 金利控除(%)	*1,594,175	329
05-01-20	BF	*5,189	ファミイルBI	*1,588,986	
05-02-03	BF	*14,904	シャープファイナンス	*1,574,082	
05-02-18	AF	利息	*9	*1,574,091	
05-02-20	BF	*8,109	ファミイルBI	*1,565,982	
05-03-03	BF	*14,904	シャープファイナンス	*1,551,078	
05-03-07	BA	*240,000	CD タブレット利用負担	*1,311,078	
05-03-10	BA	*32,500	CD 金利控除(%)	*1,278,578	329
05-03-10	BA	*46,300	CD " (13%-20%)	*1,232,278	329
05-03-10	BA	*2,190	CD " (金利未収)	*1,230,088	329
05-03-10	BA	*4,920	CD 光用紙(会費室)	*1,225,168	329
05-03-20	BF	*11,033	ファミイルBI	*1,214,135	
05-03-29	BA	*296,369	CD 会費日より・振込	*917,766	329
05-03-30	AA	預金機 都市の国會議員会	*90,380	*1,008,146	329
05-03-30	AA	預金機 1/12 金利控除(%)	*9,900	*1,018,046	329
05-03-30	BA	*11,540	CD 1/12 金利控除(%)	*1,006,506	329
05-04-03	BF	*14,904	シャープファイナンス (今和ふ与分)	*991,602	

○記号の説明

AA、AF ……入金
FA、FF ……払込
C0、1、2、3、4 ……他店からの入金
TF、TO ……取立
BA、BF ……支払

○他店を支払場所とする証券にも記入された場合は、お支払い金額に「他店」と表示し、その右側に払戻しの予定の日を表示します。
なお、お支払可能な期限は、証券の種類により異なります。

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 伊勢屋パンチ	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	フクロイカイケカンリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ファミフィルムBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	シャ-フ-ファイナンス	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多摩研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	シャ-フ-ファイナンス	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ファミフィルムBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ファミフィルムBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	シャ-フ-ファイナンス	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ファミフィルムBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツビシHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ファミフィルムBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ファミフィルムBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ファミフィルムBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ファミフィルムBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ファミフィルムBI	*2,228,525	

記号の説明

AA, AF入金

FA, FF預込

C0, 1, 2, 3, 4他店入金

TF, TO取立

BA, BF支払

※他店へ支払の場合、お預かり金額と記入した場合は

と表示し、その場合は払戻しのである旨の旨と表示します

※お支払明細に於いて、記号の1の位は

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
06-02-17	AF	利息	*10	*2,228,535	
06-02-20	BF	✓ ✓ *12,940	ﾌｼﾞﾌｨﾙﾑBI	*2,215,595	
06-02-21	BA	*317,000	CD	*1,898,595	
06-03-07	BA	✓ *240,000	CD	*1,658,595	
06-03-21	BF	✓ ✓ *2,818	ﾌｼﾞﾌｨﾙﾑBI	*1,655,777	
06-03-28	BA	*290,000	CD	*1,365,777	
06-03-28	BF	*276,130	CD	*1,089,647	
06-03-28	BA	*81,000	CD	*1,008,647	
06-03-29	BA	*105,000	CD	*903,647	326

(2007) 11 月

AA、AF……入金
FA、FF……出金
C0、1、2、3、4……他生利入金
TF、TO……預立
BA、BF……安基

と人知し、そのむねは、法族しのかある；分の目々示する
の又其印部には、謂て、のぬかしよて

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和5年4月3日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 ⑩事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	14,904 円 /
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピー機リース料 (4月支払分) *コピー機リース契約については、5年間で60回払いの契約 となっていることから、必ずしも請求日が請求対象月とはな らない (60回の支払回数の中の1回と捉えている) との事 である。なお、支払期限日が休日の場合は、翌日の引き落と しとなる。 令和4年10月26日 リース会社確認済。
購 入 先	シャープファイナンス㈱
支 出 年 月 日	令和5年4月3日 /

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

2023 年 2 月 17 日作成 0-1-5601K6016776 (1) P. 1/ 1 (45)

4 3 7—8 6 6 6

静岡県袋井市新屋 1-1-1

袋井市議会 自民公明クラブ 御中

1 0 2-0 0 8 3

東京都千代田区麹町5丁目1番地1

住友不動産麹町ガーデンタワー

シャープファイナンス(株)

事務センター お客様窓口

TEL: 0570-003338

〔営業時間 10時～17時（土、日、祝日を除く）〕



(1213 5601K6016776 1214) XD5-025

平素は、弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げますので、ご確認の上お支払賜りますようお願い致します。
万一、内容にご不審な点がございましたら、お問い合わせ番号をお申し出のうえ、
右記までご連絡下さい。

ご請求金額をお支払期限〔金融機関非営業日の場合は、その翌営業日〕に、右記ご指定口座より引落しさせていただきますので、お支払期限の前日までにご入金をお願い致します。
お客様の情報を保護するため、口座番号は表示していません。

お問い合わせ番号		5601K6016776	
お支払期限		2023 年 4 月 3 日	
ご請求金額 (税込)		14,904 円	
消費税率別 請求金額 /内消費税等	C	8.0%	14,904円
			1,104円
	合 計		14,904円
(ご指定口座) XXXXXXXXXX			

〔当月ご請求内訳〕（金額単位：円）

ご契約番号 ご契約形態		お支払開始日 回目 / 総回数	商 品 名 機 種 名	ご請求金額 (税込)	税率	内消費税等	備 考
5601K6016776	リース契約	2018年 7月 3日 58回目 / 60回	デジタル複合機 DC-V2060CP-4T (1)	14904	C	1104	
合 計				14904		1104	

下段：保守料

XD002

振込金
(兼手数料) 受取書

〈取引銀行へのお願い〉
太枠内を打電して下さい。

* 據 込 依 頼 書 *

科目

依頼日	年 月 日											
金額	*	百	*	*	*	*	*	*	*	*	*	円
先方銀行	**** ****											
お受取人	*****											
番 号	***** (*****)											
二依頼人	*****											
	手数料											

(銀行切りはなし

依頼日		年 月 日		振込指定		電信扱		手数料										
お 受 取 入	先方銀行				*****				金額	*	*	百 円	*	*	*	*	*	*
	預金種目		**		口座 番 号		*****		内	現金								
	（フリガナ）		*****						誤	当手 枚								
	口座名									他手 枚								
	（漢字）		*****						金	円				円	円			
										10,000			0,000		50		0	
									種	5,000			000		10		0	
									内	2,000			000		5			
									誤	1,000			000		1			
										500			00	合 計				
									100			00	つり銭					

銀行取扱

取 扱 印

(取招庄保左)

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
04-11-04	BF	*14,904	シャーフファイナンス	*1,988,656	
04-11-18	BA	*35,740	CD 金沢経済大学(12/1)	*1,952,916	329
04-11-21	BF	*1,139	ファミイルムBI	*1,951,777	
04-12-05	BF	*14,904	シャーフファイナンス	*1,936,873	
04-12-16	BA	*47,500	CD 金沢経済大学(12/1)	*1,889,373	329
04-12-20	BF	*3,934	ファミイルムBI	*1,885,439	
05-01-04	BF	*14,904	シャーフファイナンス	*1,870,535	
05-01-06	BA	*276,360	CD 1/12 金沢経済大学	*1,594,175	329
05-01-20	BF	*5,189	ファミイルムBI	*1,588,986	
05-02-03	BF	*14,904	シャーフファイナンス	*1,574,082	
05-02-18	AF	利息	*9	*1,574,091	
05-02-20	BF	*8,109	ファミイルムBI	*1,565,982	
05-03-03	BF	*14,904	シャーフファイナンス	*1,551,078	
05-03-07	BA	*240,000	CD タブレット利用負担	*1,311,078	
05-03-10	BA	*32,500	CD 金沢経済大学(12/1)	*1,278,578	329
05-03-10	BA	*46,300	CD " (12/2)	*1,232,278	329
05-03-10	BA	*2,190	CD " (12/2)	*1,230,088	329
05-03-10	BA	*4,920	CD 代用紙(会報室)	*1,225,168	329
05-03-20	BF	*11,033	ファミイルムBI	*1,214,135	
05-03-29	BA	*296,369	CD 金沢経済大学(12/1)	*917,766	329
05-03-30	AA	預金機 金沢経済大学(12/1)	*90,380	*1,008,146	329
05-03-30	AA	預金機 金沢経済大学(12/1)	*9,900	*1,018,046	329
05-03-30	BA	*11,540	CD 1/12 金沢経済大学(12/1)	*1,006,506	329
05-04-03	BF	*14,904	シャーフファイナンス(12/1)	*991,602	

●記号の説明

AA, AF入金
 FA, FF支払
 C0, 1, 2, 3, 4借入金
 TF, TO取立
 BA, BF支払

◎他社を支払期日とする請求書も入金金庫計、お支払い金と
 として、その右記に振替しのである予定の日と表示
 ◎お支払い金庫計、請求書の右記に、お支払い金と

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和5年4月12日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 ⑩事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	16,252 円 /
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	会派室事務用パンチ（穿孔機） 1台 コクヨPN-36 計32,505円 (内訳：政務活動費分16,252円 会派会計より16,253円)
購 入 先	浜松市中区佐藤町1丁目40-28 ㈱伊勢屋
支 出 年 月 日	令和5年4月12日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

領収証

コードNo. F 99102

No 001395

自民公明クラブ 様

5 年 4 月 12 日

金額

¥ 22505 -

内訳 NO. 521616

但 強か104代
- 773 PN-36

(内消費税等)

現金 ¥ 22505 -

小切手 ¥

手形 ¥

振込 ¥

相殺 ¥

上記正に領収いたしました

株式会社



営業本部 〒430-0807 浜松市中区佐藤1丁目40-28 ☎(053)-463-5111
袋井営業所 〒437-0023 静岡県方丈3丁目2-5 ☎(0538)-43-5111



(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 4 月 2 0 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	5, 5 5 1 円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピーカウント料 (令和5年3月1日～3月31日分) (4月支払分)
購 入 先	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン (株)
支 出 年 月 日	令和 5 年 4 月 2 0 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

437-0013
袋井市新屋 1 丁目 1 - 1
袋井市役所 5 F
袋井市議会 自民公明クラブ
議員控室

御中

0002587#

|||||

お問合せ番号：3301027988

毎度格別のお引立に預り厚くお礼申し上げます。
ご請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、部課名、届け日の変更は
下記の窓口へ、「お問合せ番号」と共にご連絡をお願いします。

530-0005

大阪市北区中之島 3 丁目 2 番 18 号
住友中之島ビル 10 F

富士フィルムサービスクリエイティブ
事務サービス部

TEL:0120-069-840

(

002587)

FAX:0120-497-002

お支払の ご案内	お支払約束手 お支払方法 金融機関名 本・支店名 預金種目/口座番号 指定口座名	2023年04月20日 口座振替 ***** 上記、お支払約束手日に口座より 引落しさせていただきます。
-------------	---	--

備考：

FUJIFILM

請 求 書

発行日：2023年03月29日
請求書番号：830328-0010986

様

富士フィルムビジネスイノベーションジャパン



今回ご請求額 5,551 円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。

お問合せ番号：3301027988 電話：0120-069-840

1	料金項目 / 品名	期 間 / 送 品 N O	枚数 / 数量	単 価	小 計 (円)	合 計 (円)
2	トータルサービス料金	2023/03/01-2023/03/31				5047
3		10721- 1000721	721	7.00	5047	
4	ご使用合計		721			
5	【代金/料金合計】					5047
6	【消費税および地方消費税(10%)】					504
7	【今回ご請求額】					5551
8	※ご利用機種/機械番号:DocuCentre-V 2060 CP-4T 601923					
9	(今回) (前回) (デスト) (ミス) 2023/03/01-2023/03/31					
10	1 (17508) (16787) (0) (0)					
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						

15201 01008 07A 01008 07A 01 1 2
31 0331 01 0A0 510 1NK 0000 1/1 001 0 TCH

11901040 8319232 3301027988
01 3 002587 1

3301027988 3301027988

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 佐野屋パン子	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	フロイカケイカンリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ファミイルムBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	シャ-フ-ファイナンス	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	シャ-フ-ファイナンス	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ファミイルムBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ファミイルムBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	シャ-フ-ファイナンス	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ファミイルムBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツヒヲHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ファミイルムBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ファミイルムBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ファミイルムBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ファミイルムBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ファミイルムBI	*2,228,525	

● 記号の説明

AA, AF入金
 FA, FF返済
 CO, 1, 2, 3, 4他国へ入金
 TF, TO出金
 BA, BF出金

● 記号を省略したものは、その記号の前の記号のままである。
 ● 記号を省略したものは、その記号の前の記号のままである。

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 5 月 8 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 ⑩ 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	14,904 円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピー機リース料 (5月支払分)
購 入 先	シャープファイナンス㈱
支 出 年 月 日	令和 5 年 5 月 8 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

2023 年 3 月 17 日作成 0-1-5601K6016776 (1) P. 1/ 1 (45)

4 3 7—8 6 6 6

静岡県袋井市新屋 1-1-1

袋井市議会 自民公明クラブ 御中

(1203 5601K6016776 1204) XD5-025

1 0 2—0 0 8 3

東京都千代田区麹町5丁目1番地1

住友不動産麹町ガーデンタワー

シャープファイナンス(株)

事務センター お客様窓口

TEL: 0570-003338

【営業時間 10時～17時（土、日、祝日を除く）】



平素は、弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げますので、ご確認の上お支払賜りますようお願い致します。
 万一、内容にご不審な点がございましたら、お問い合わせ番号をお申し出のうえ、
 右記までご連絡下さい。

ご請求金額をお支払期限〔金融機関非営業日の場合は、その翌営業日〕に、
右記ご指定口座より引落しさせていただきますので、
お支払期限の前日までにご入金をお願い致します。
お客様の情報を保護するため、口座番号は表示しておりません。

お問い合わせ番号		5601K6016776	
お支払期限		2023年5月3日	
ご請求金額(税込)		14,904円	
消費税率別 請求金額 /内消費税等	C	8.0%	14,904円
			1,104円
	合計		14,904円
(ご指定口座)		1,104円	

「当月ご請求内訳」(金額単位:円)

ご契約番号 ご契約形態	お支払開始日 回目 / 総回数	商品名 機種名 (数量)	ご請求金額 (税込)	税率	内消費税等	備考
5601K6016776 リース契約	2018年 7月 3日 59回目 / 60回	デジタル複合機 DC-V2060CP-4T (1)	14904	C	1104	
税率 C= 8.0%		合 計	14904		1104	

下段：保守料

XD007

振込金
(兼手数料) 受取書

〈取引銀行へのお願い〉
太枠内を打電して下さい。

* 振 込 依 頼 書 *

科目

依頼日	年		月		日	
金額	*	千	*	*	*	*
先方銀行	*****					
お受取人	*****					
番号	***** (*****)					
依頼人	*****					
手数料						円

(銀行切りはなし)

依 頼 日		年 月 日		振込指定		電 信 扱		手 数 料																
先方銀行		*****										金 額		*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
お 受 取 入	預金種目		**		口 座 番 号		*****		内 訳		現 金													
	【マリカチ】		*****										当手 枚											
	口 座 名												他手 枚											
	【漢字】		*****																					
	住 所		*****										金 種 内 訳		10,000		0,000	50					0	
電話番号		*****												5,000			000	10					0	
【マリカチ】		☞ 番号は必ず打電して下さい。												2,000			000	5						
口 座 名		*****												1,000			000	1						
【漢字】		*****												500			00	合 計						
住 所		〒*****												100			00	一 切 収						
電話番号		*****												*****										
														取扱銀行 取 扱 印										
														(取扱店印)										

取扱銀行

取 撥 印

(取报主保存)

上記の金額正に
受取りました。
(取扱店)

銀行

支店

銀行 取扱

取 扱 印

113

組

附报作、传输 / Y

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 仮当立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 仮当戻金	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	ワロイカイイカンリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ワロフィルムBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 仮当立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	シャープファイナンス	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	シャープファイナンス	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ワロフィルムBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ワロフィルムBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	シャープファイナンス	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ワロフィルムBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツヒシHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ワロフィルムBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ワロフィルムBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ワロフィルムBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ワロフィルムBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ワロフィルムBI	*2,228,525	
記号の説明 AA, AF入金 FA, FF返済 CO, 1, 2, 3, 4他商金入 TF, TO振立 BA, BF支払					

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 5 月 20 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 ② 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	40,000円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	議会議員研修 自治体議会特別セミナーin袋井 (袋井南コミュニティセンター) 内容：議員の資質向上と議会運営の基本について *講師配布資料忘れのため受講料2,000円減額 5,000円×8名＝40,000円
購 入 先	三重県津市白山町日本木545 自治体議会研究所 代表 高沖秀宣
支 出 年 月 日	令和 5 年 5 月 17 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

領 収 書

高木 清隆 様

金 5,000 円

上記正に領収しました。
ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  (印)

領 収 書

鈴木 弘暉 様

金 5,000 円

上記正に領収いたしました。
ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  (印)

領 収 書

山岡 貴子 様

金 5,000 円

上記正に領収しました。

ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

領 収 書

戸塚 哲夫 様

金 5,000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

領 収 書

佐野 武次 様

金 5,000 円

上記正に領収しました。

ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

領 収 書

村井 勝彦 様

金 5,000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

領 収 書

黒岩靖子 様

金 5,000 円

上記正に領収しました。

ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

領 収 書

太田 裕介 様

金 5,000 円

上記正に領収いたしました。

ただし、地方議会特別セミナー受講料として。

令和5年5月17日

自治体議会研究所（三重県津市白山町二本木 545）

代表 高 沖 秀 宣  印

(様式 2)

	会派代表者	経理責任者
確認		

	議長	副議長	局長	主幹	主幹	係
供覧						



調査研究・研修計画書

令和5年5月10日

袋井市議会議長 戸塚 哲夫 様

会派名 自民公明クラブ
氏名 高木 清隆

調査研修 参加者氏名	太田 裕介 黒岩 靖子 村井 勝彦 佐野 武次 鈴木 弘睦 戸塚 哲夫 山田 貴子 高木 清隆 《 計8名 》
出発・帰着	令和5年5月17日(水) ～ 令和5年5月17日(水) 《 1日 》
調査研究 研修先	1:自治体議会特別セミナー in 袋井 日程 令和5年5月17日(水) 13:30～16:00 会場 袋井南コミュニティセンター 大会議室 主催 自治体議会研究所 講師 自治体議会研究所 所長 高沖 秀宣 氏 研修プログラム 1・議員の資質向上の在り方 2・「二代表制」における議会活動 3・議会運営の基本と一般公開 4・議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案 受講料 7,000円
概算費用	56,000円

※ 視察行程表を添付してください。

(様 式 2)

調査研究・研修の目的及び市政との関連性

(調査研究先・研修先ごとにそれぞれ記入)

袋井市議会においては、平成27年4月に、袋井市議会基本条例を制定している。
議会は、二元代表制の下、議事機関としての機能をはじめ、市政執行に関する監視及び評価並びに政策提言の責務を担っていることから、議員の資質向上と議会運営の基本を改めて学ぶことにより、議会改革の取り組み推進に向けた一助とするため。

新人からベテランまで

自治体議会特別セミナー in 袋井!!

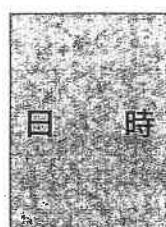
議員の資質向上と議会運営の基本

本セミナーは、地域を活性化させるために、二元代表制の下、日々尽力されている自治体議会議員と市民・議会事務局職員のための「学びの場」です。

特に新人議員等やる気のある議員が議会活動・議員活動を行う上で、特に重要な「議員の資質向上」と「議会運営の基本」について講義します。どうぞ袋井地域の自治体の新人議員等議会関係者の参加をお待ちしております。

(プログラム)

- 1 議員の資質向上の在り方
- 2 「二元代表制」における議会活動
- 3 議会運営の基本と一般質問
- 4 議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案



2023(令和5)年

5月17日(水)

13:30~16:00 (2時間半)

※受付開始は13:00



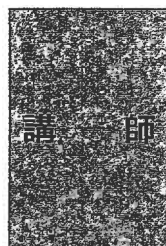
袋井南コミュニティセンター 大会議室

袋井市高尾 754-1 tel0538-43-3386



7,000 円(議員)、4,000 円(市民・職員)(当日払)

※ テキスト代 2,000 円含む(お持ちの方は持参願います)



自治体議会研究所 代表 **高沖秀宣**

(議会事務局研究会共同代表、元三重県議会事務局次長)

1953 年三重県生れ、京都大学法学部卒。2002 年 4 月から三重県議会事務局で、政策法務監・政務調査課長・企画法務課長・総務課長・次長を歴任。

著書『自治体議会改革講義』(東京法令出版、2018 年)をテキストに使用(当日配付)



下記の mail(又は電話)にて、所属議会名、氏名、連絡先をお知らせください。

(参加者・講師はマスク原則着用。消毒、3 密には十分留意して実施予定。)



自治体議会研究所(三重県津市白山町二本木 545)(代表:高沖秀宣)

mail: soukon830@yahoo.co.jp、電話:090-4116-4501(9 時~19 時)



使用テキスト

(様式 3)

	会派代表者	経理責任者
確認		

供
覧

供 覧	議 長	副議長	局 長	主 幹	係
					

調 査 研 究・研 修 報 告 書

令和5年5月29日



袋井市議会議員 鈴木 弘睦 様

会派名 自民公明クラブ

会派長 高 木 清 隆

参加議員名	√ 太田 裕介 ・ √ 黒岩 靖子 ・ √ 村井 勝彦 ・ √ 佐野 武次 √ 鈴木 弘睦 ・ √ 戸塚 哲夫 ・ √ 山田 貴子 ・ √ 高木 清隆 《計8名》
期 間	令和5年5月17日(水) 《 1日 》
調査研究 研修先	1:自治体議会特別セミナー 日程 令和5年5月17日〔水〕 午後1時30分～4時00分 会場 袋井南コミュニティセンター 2階大会議室 主催 自治体議会研究所 講師 自治体議会研究所 所長 高沖 秀直 氏 研修プログラム 1・議員の資質向上の在り方 2・議会運営の基本 3・議員力・議会力の強化 4・監視機能の強化 5・政策提案・政策提言機能の強化 6・通年制議会 7・コロナ後の議会運営
考察特記事項	

(様 式 3)

調査研修 期 間	令和 5 年 5 月 17 日	参加者 議員名	太田 裕介
	令和 5 年 5 月 17 日		

調査研究・研修結果及び所見

(参加議員それぞれが記入)

昨年5月に引き続き、高沖先生によるご講演を拝聴。

議事機関としての議会の役割・機能に関して、また二元代表制に関して他自治体の例を挙げてわかり易く説明をいただいた。2度めではあるが、直近の事例を挙げていただいたこともあり新たな気づきを得ることができた。そして「議員力」だけではなく「議会力」を上げていくことの重要性に関しては改めて再認識したところである。

特に今期より議会運営委員会に所属することとなった身としては、議員、議会事務局、当局それぞれの立場などを改めて学ぶ機会があったことはありがたかった。議会のあり方としては県内で藤枝市が行っている通年議会のメリットをご教示いただき、少子高齢化や男女共同参画、自営業者から給与所得勤労者が増加する近年のライフスタイルに適合した、よりよい議会のあり方を考えていく上で大変参考になった。

議員は全国的ななり手不足が叫ばれている。議会改革・議会活性化は喫緊の課題である。

今後、自己研鑽に励んだ上で、さらに議会に対しても今まで以上に市の発展、市民の幸福に寄与できるようになるよう積極的な提案、提言を行っていきたい。

調査研究・研修の目的及び市政との関連性

(調査研究先・研修先ごとにそれぞれ記入)

袋井市議会においては、平成27年4月に、袋井市議会基本条例を制定している。議会は、二代表制の下、議事機関としての機能をはじめ、市政執行に関する監視及び評価並びに政策提言の責務を担っていることから、議員の資質向上と議会運営の基本を改めて学ぶことにより、議会改革の取り組み推進に向けた一助とするため。

昨年に続き2回目のセミナーを受けました。あらためて初心に戻り、受けさせていただきました。

I 議員の資質向上「議会の役割機能」

- ・市民の代表として、何かしら成果を出すこと。
- ・修正案は政策の質を上げる。その時に使うのが政務活動費である。
- ・監視機能と政策機能を議員はやってほしい。

II 議会運営の基本「二代表制」について

- ・憲法上、地方公共団体の長と議会の二元主義が採用されていると一般に理解されている。
- ・長から政策を収めたら、修正案を出す。議会から政策を出さないと、競争が起きない。競争を以て、修正案を出す。
- ・議会は、首長を支援する支持する役割を住民は期待していない。審議、熟議すべきこと大切。

III 議員力、議会力の強化

議会改革とは、二代表制を追求するのではなく、実質化していくこと。

IV 監視機能の強化 一般質問のポイント

- ・単に質問しただけ、ということでは終わっていないか？
- ・検討するとの答弁があれば、「いつまでに検討するのか」「その検討の結果をいつまでに示すのか」等を質問中に市民の前で答弁させて確認すること。
- ・執行部に確認するだけで満足していないか？ 今どういと思われり位、質問が方が良い。

V 政策提案、政策提言機能の強化

VI 通年制議会のメリット

- ・いつでも会議を開くことができるため、より慎重な議案審議や専門的な調査が行える。
- ・委員会を必要に応じて開催できる。
- ・市政に対する監視機能や政策立案の機能を強化できる。
- ・市長や議員が必要に応じて、議案を提出できる。
- ・市長が提出する議案を年間を通し審議できるため、市長の専断処分を必要最小限に抑制できる。

政務活動費について

使用した結果をいかに市民に届けることができるかがポイント。
もっと政策の調査研究に使用して、市長と政策の競争をすべきである。

研修報告書

令和 5 年 5 月 1 9 日

袋井市議会議長 鈴木弘睦 様

受講議員氏名 村井勝彦

研 修 名	令和 5 年度 自治体議会特別セミナー in 袋井
研 修 先	袋井南コミュニティセンター 大会議室
期 間	令和 5 年 5 月 1 8 日（木）～令和 5 年 5 月 1 8 日（木） 《 1 日間 》
研修内容 （結果） 及び所見	1 演題 「議員の資質向上と議会運営の基本」 2 講師 自治体議会研究所 所長 高沖 秀宜 氏 3 内容 （1）議員の資質向上の在り方 （2）「二元代表制」における議会活動 （3）議会運営の基本と一般公開 （4）議員力・議会力の強化と政策提言・政策提案 4 所見 （1） 政策提言に必要な調査、研究等については、積極的に政務活動費等を友好的に活用し、政策の質の向上に努めることが求められる。 （2） 通年議会の開催については、「専決処分を行う必要がなくなる」、「有事の御際の議会対応が可能となる」など、多くのメリットが見込める。 （3） 議会については、「政策の監視機能」、「政策形成機能」を強化の強化が求められる。 5 その他 議員活動等については、法律、条令などをしっかりと理解したうえで、政策提言などを行って行く必要があると改めて感じた。

研 修 報 告 書

令和 5 年 5 月 1 7 日

袋井市議会議長 鈴 木 弘 睦 様

受講議員氏名 佐 野 武 次

研 修 名	自治体議会特別セミナーin 袋井
研 修 先	袋井南コミュニティセンター 2 F 大会議室
期 間	令和 5 年 5 月 1 7 日（水） 《 1 日 間 》
研修内容 （結果） 及び所見	【講師：自治体議会研究所 代表 高沖秀宣 氏】 「議員の資質向上と議会運営の基本について」を主題として、①議員の資質向上、②議会運営の基本、③議員力・議会力の強化、④監視機能の強化、⑤政策提案・政策提言機能の強化、⑥通年制議会についての講演を受けた。 講演を受けて、改めて議員としての在り方や議会の活性化を目指していく上における議会運営の在り方やその手法等について再考することができた。特に印象的であったものとして、議会が議決機関としての権能を十分に果たしているかとの点における、予算審議時における対応についての講話であった。ただ、現状の本市議会の審議においても、予算に係る諸事業については、そこに至るまでの検討経過や目的、また基本構想や基本計画などを、事前に所管委員会や全員協議会等において、検討を重ねた上で予算案として提出されており、決して首長の予算案を追認している状況ではないと思った。しかし、反省すべき点としては、予算に係る議案質疑や一

研修内容
(結果)
及び所見

般質問等において、当局側から「研究・検討する」などとの回答がままあるが、この回答に対する事後の検証がされていない事が問題であると感じた。折角、市民の意見等を反映させた質問や提案であるのに、その場だけの答弁に終始してしまい、課題に対するその後の進展や改善が見受けられないことは残念である。厳しい財政状況下ではあるが、議会として、こうした点を改善することも当局に要求し、市民の負託に応え、住みよいまちづくりに繋げていくべきであると思う。その他に政務活動費の活用の仕方においても指摘があったところであるが、一部ではそうした動きも見受けられるものの、今後は、議員間のみでの情報の共有化に止まらず、政策提言として議会活動の中で生かしていくべきであると思った。さらに、通年議会やICT等の活用についても講演されたが、これらの問題については、本市議会においても、これまで特別委員会において議論されてきたところであり、引き続き、その効果や目的、必要性などについて検討を重ねていく方針が出されている。また、これら以外の現状における課題や問題、さらには、こうした諸課題に係る議会としての対応の在り方について、様々な角度から指摘や指導を受けたところであるが、議員各位がこうした研修に引き続き参加し、認識を深めながら研鑽を重ねることにより、より一層の議会の活性化に繋がっていただくと期待するものである。

研 修 報 告 書

令和 5 年 5 月 1 7 日

袋井市議会議長 鈴 木 弘 睦 様

受講議員氏名 鈴木 弘睦

研 修 名	自治体議会特別セミナーin袋井
研 修 先	袋井南コミュニティーセンター大会議室
期 間	令和5年5月17日（水） 《 1 日間 》
研修内容 （結果） 及び所見	自治体議会研究所 所長 高沖秀宣 氏 1、 議員の資質向上の在り方 2、 二元代表制における議会活動 3、 議会運営の基本と一般公開 4、 議員力議会力の強化と政策提言政策提案 別紙

所見

1 議員の資質向上の在り方

条例は改廃、予算は定める、決算は認定する。議会は予算について本当に定める行為をしているか？

2 二元代表制における議会活動

議会は議決機関との認識が多いが憲法 93 条には議事機関と記されている。審議・熟議する機関として議会は本当に機能しているか、予算には修正をする箇所は必ずある。執行機関と議会の関係は競争する機関である。会派は修正案を立案し議会で協議する。そこでの修正案を過半数をもって議決する。議会と執行部間で競争する。予算の修正案を出すことが一番簡単な政策立案。条例や予算や補正予算を提出していく事が二元代表制として機能している証。

3 議員力議会力の強化と政策提言政策提案

議員の政策について議員間で共有する、過半数の合意によって機関としての議会が実現される。その為に基本条例内に政策討論会を記載（浜田市議会）

議員の一般質問から委員会の調査項目に委員長の権限で追加し委員会で調査議論し政策提言につなげる。政策提言サイクルを確立する。

議員は一般質問の提案について追跡調査し、進捗状況を確認。政務活動費を使って事前の調査研究を進める。

4 通年制議会

メリットはいつでも議会を開会することが出来る。市政に対する監視機能、政策立案機能が強化される。議員間の活発な討論が活発化し議会が強化される。災害時に迅速に対応できる。但し議員としてのメリットは無い、その事から議員報酬改正案も合わせて議決する。

5 コロナ禍による議会運営

オンライン委員会、一般質問、本会議の開催可能な環境整備

政治倫理条例の審査会の委員は第三者の委員を選任し、附属機関を設置する（尼崎市議会）

まとめ

二元代表制としての議会の機能を果たしているか？監視機能と政策形成機能の両面について議会として行なっているか？政務活動費を活用し政策提言に繋げているか？議会は市民に対し民意を反映し具現化しているか？一般質問での提案を委員会で協議し政策提言につなげるサイクルや、会派でまとめた政策提言案を政策討論会にて議員間討論をし提言書にまとめるサイクル。そして、出来た政策提言書は議案として上程し議決していく。議会の議事機関や競争機関としての議会運営について、足らざるが多いことに改めて考えさせられる内容だった。また通年議会についても継続的に検討していく必要性を感じた。

(様式3)

調査研修 期 間	令和5年5月17日 ～ 令和 年 月 日	参加者 議員名	戸部哲夫
調査研究・研修結果及び所見			
(参加議員それぞれが記入)			
自治体議会特別セミナーの参加を受講しました。 今回の研修プログラムは、大まか4項目であったが、そのうち1の 議会の質的向上のあり方について、次のとおり、所見を述べる。 1. 議会権限を生かす(議会権限の活用) 議会は調査権を有し、非常に大きな決定権限を有している。 議会は更に権限を強化する(自治法96②)、つまり 活用するに当たっては議会の権限の積極的活用が必要。 地方自治の制度は二元代表制である。執行機関に対する 議会は、むしろの機関(議事機関)として活動しなければ ならない。議会は決定しなければ、市長等は原則として 執行できない。 2. 政策全体の把握と持論の打ち出し(特徴を持った政策提言) 自治体は計画行政の下に動いている。基本構想を頂点に、 基本計画、実施計画、次に都市計画マスタープラン、 分野別のマスタープラン、そしてそれらに基づき予算が 決定され、様々な施策が実施されている。 議員には得意分野は必要である。議会はあくまで全体的 視点に立って議論し、決議する場であるので、政策の 全体像を把握する能力を身につける必要がある。 特に野党は、自治体の政策と実施する手段である 予算、決算を的確に読み解く能力は、その前提である。 それ以上に必要なのは、決算や事務事業評価と預減論に 活用する議員と議会の能力である。 3. 政策の進め方の中で政策能力を活用(どうにかを發揮する) 政策過程は、形成から決定、実施を経て評価に至る。 議会は、決定だけに関与するのではなく、実施を監視する。			

(様式 3)

調査研修 期 間	令和 年 月 日	参加者 議員名	
	令和 年 月 日		

調査研究・研修結果及び所見

(参加議員それぞれが記入)

よい訳ではない。政策過程の全体に、議会が責任を
持つ。政策の全体像を把握する能力を身につけた
議員が、議事を舞台に、その能力を発揮する。

議会基本条例について
議会基本条例は、議会運営の「最高規範」である。
議会基本条例の制定による「最高規範」として、基本条例の下に
条例、規則、規程という創制する議会運営体系が、創出
された。これら基本条例は、今後の議会改革ともなる。
これら議会改革は、国だけにある訳ではない。
それらの自治体の議会改革が必要である。議会基本条例は、
その議会改革の決定の意味があると考えます。

その他、通年議会、議場力、議会の強化等、今後の議会改革の
取り組みに大変参考になりました。

調査研修 期 間	令和5年5月17日～ ～令和5年5月17日	参 加 者 議 員 名	山 田 貴 子
調査研究・研修結果及び所見(参加議員それぞれ記入)			
「自治体議会特別セミナーin袋井」と題して 令和5年5月17日 袋井南コミュニケーションセンター 講師 自治体議会研究会 所長 高沖 秀宣 氏 による講演に参加しました。			
1.議員の資質向上【議会の役割・機能】 市民と市議会の関係			
袋井市のホームページでは、市議会は、市を取り巻くさまざまな問題を話し合い、市政の方針を決定する。 このような役割を持つ市議会を「議決議会」といいます。また市議会は市政が正しく、より合理的に進め られるよう心を配り、市の仕事を責任もって執行させる大切な役目を担っている。			
これに対して、市議会の決定に基づいて実際に仕事を行う市長や教育委員会、選挙管理委員会、監査委員 などを「執行機関」と言います。とありますが、高沖氏によると市議会は、議決機関でいいのか？ 「決だけしていればいいのか？」と問いかけました。			
議会は、二次元代表制である。市民の代表機関であり、議決機関である。市長は、執行機関である 執行機関から出された予算を議決し決算を認定することを議決する。			
合議制の住民代表機関であるから、多様な民意の反映が求められ、民意を反映できるかが大きな課題とされる。 執行機関の事務執行に対して、監視する機能と議事機関としての審議・議決・議案提出を通じ、政策形成機能を 担う。この二刀流こそが、市議会の仕事であり、そのことに対して調査研究をするのが必要とされる。			
しかし、現状は、あまり政策形成機能は発揮されていない。また議員も政策形成機能にあまり関心がないのが 現状とおっしゃり、調査研究をしなければ、政策形成はできないので、もっと政務活動費を活用して、やるべきだ。 政務活動費を使用した結果、成果をいかに市民に届けることができるのかがポイントもっと政策の調査研究に 使用して、市長と政策の競争をすべきだとおっしゃいました。			
「コロナ禍だったので仕方ないが、今後は住民が納得するような調査研究をして、政務活動費をおおいに活用し 金が出ないように活用すべきだ。」ともおっしゃいました。			
調査研究をした成果を住民に見せなければ何もならないので、政策の質を上げるように努めなければならない。 市民のために、市民に選ばれた議員ですので市民のために成果を出すべきだ。 それを市民に説明して政策へと持ち込むことが大事だ。			
議会は「二元代表制」ですので、市長が出した予算等に修正案を出せることも重要だ。			
議員力・議会力の強化			
議会力 市長等に対する監視機能を十分に果たすとともに、政策立案及び政策提言を議員間で共有し 議会全体の政策資源として、市民のためのより良い政策とする力及びその政策実現に向けた総合的な活動 をいう。			
議員力 地域の課題を把握し、その解決を目指して調査し、及び政策を構想する能力並びにその活動			
一般質問のポイント			
追跡調査をすることが必要 質問を棚上げ状態で放置しないように、議会として取り組むべきである。			

議員個人として、いくら良い提案をしても首長は「聞き置く」だけの場合がある。

もし「検討します」との答弁があれば、「いつまでに検討するのか」「その検討の結果をいつどこで示すのか？」等を質問中に市民の前で答弁させて確認しておくこと。

議員の一般質問から議会の政策提案にするよう議員間討議を実施する。

この点について、広報公聴委員会として取り組んでみたいと思いました。

通年制議会について

議会改革委員会の最初の年にこの問題を取り上げた記憶があります。しかし今まで通年で良となりました。

今一度考えてみても良いのかと思います。

講師の先生は、もし通年議会になるとしたら、報酬を今の1.5倍にするのも一緒にするべきだとのこと

通年になるとやはり出勤要請が増えるのだから当然で、メリットも5点取り上げました。

1.いつでも会議を開くことができるため、より慎重な議案審議や、専門的な調査を行うことができる。

2.委員会を必要に応じて開催できるので、調査研究活動や議員間の討議の活性化が期待できる。

3.市政に対する監視機能や政策立案の機能が強化できる。

4.市長や議員が必要に応じて、議案を提出できる。

5.市長が提出する議案などを年間を通して審議することができるため、市長の専決処分を必要最小限に抑制することができる。

まとめ

議会として二元代表制は、機能しているのか？

自治体議会は、首長優位のシステムに、二次元代表制の立場から戦略を持って対抗しているか？

戦略をもって政策提言できる議会になるようにする。

議員力・議会力を強化し機関としての議会が実現されているか？

などの問題が指摘されました。これらをクリアできるように、袋井市議会もできることからやっていきたいと思いました。今後通年制議会についても考えてみたいと思いました。

(様式3)

調査研修 期 間	令和5年5月17日(水)	参加者 議員名	高 木 清 隆
-------------	--------------	------------	---------

2023年 議員特別セミナーin 袋井 『議員の資質向上と議会運営の基本』を受けて

実態としての議会の役割には3つある

- ① 自治体の団体意思を決定する議決機関としての役割
- ② 首長の行政執行のチェック機関としての役割
- ③ 自ら政策を立案し条例化する立法機関としての役割

1:議会の機能として求められること

- ・複数の多様な意見を反映することができるのが、合議制の代表機関である議会ならではの
特徴であり、その多様な意見が相互にたたかわされることを通じて、争点を明示し、結論に至
った理由をわかりやすく示すことができるのが、首長には果たすことのできない議会の機能で
あること。
- ・首長提出の議案についても、議員同士の討議を通じて結論に至ることが求められている。

2:議会の本質的な役割として求められること

- ・住民の目の届きやすい場で、住民に代わってさまざまな意見が表明され、相互の批判と反
論、説得と納得の過程を経たうえで、最終的にある1つの意思に確定されていくという場が必
要であること。
- ・民主主義の舞台であることが、二元代表制における議会の最も重要な役割であること。

3:予算・決算審査において求められること

- ・予算や決算の議論は、政策目的を達成するためのおカネの使い方をめぐるものであることか
ら、政策論に展開していくことが重要であること。
- ・予算・決算については、政策の是非に立ち戻って、論じることが議会の役割であること。
- ・決算の審査過程で出された政策論が、どの様な形で、その後につながっていくかという点に
ついては、極めて曖昧なことから、具体的な政策運営上の改善の約束などの答弁を引き出す
ことが重要であること。

以上のことから、政策提言型議会に向け、議会改革に取り組んで行く必要性を、改めて認識し
たところであります。

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 6 月 5 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 ⑩ 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	14,904円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピー機リース料 (6月支払分)
購 入 先	シャープファイナンス㈱
支 出 年 月 日	令和 5 年 6 月 5 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

2023 年 4 月 17 日作成 0-1-5601K6016776 (1) P. 1/ 1 (45)

437-8666

静岡県袋井市新屋1-1-1

袋井市議会 自民公明クラブ 御中

(1239 5601K6016776 1240) XD5-025

102-0083

東京都千代田区麹町5丁目1番地1

住友不動産麹町ガーデンタワー

シャープファイナンス(株)

事務センター お客様窓口

TEL:0570-003338

[営業時間 10時～17時(土、日、祝日を除く)]



平素は、弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げますので、ご確認の上お支払賜りますようお願い致します。
万一、内容にご不審な点がございましたら、お問い合わせ番号をお申し出のうえ、
右記までご連絡下さい。

ご請求金額をお支払期限〔金融機関非営業日の場合は、その翌営業日〕に、
右記ご指定口座より引落しさせていただきますので、
お支払期限の前日までにご入金をお願い致します。
お客様の情報を保護するため、口座番号は表示しておりません。

お問い合わせ番号	5601K6016776
お支払期限	2023 年 6 月 3 日
ご請求金額(税込)	14,904 円
消費税率別	C 8.0%
請求金額	14,904 円
内消費税等	1,104 円
合計	14,904 円
(ご指定口座)	

〔当月ご請求内訳〕(金額単位:円)

ご契約番号	お支払開始日	商品名	ご請求金額	税率	内消費税等	備考
ご契約形態	回目/総回数	機種名 (数量)	(税込)			
5601K6016776	2018年 7月 3日	デジタル複合機	14904	C	1104	
リース契約	60回目/60回	DC-V2060CP-41 (1)				
税率 C= 8.0%		合計	14904		1104	

下段:保守料

XD007

振込金 受取書
(兼手数料)<取引銀行へのお願い>
太枠内を打電して下さい。

振込依頼書

科目

依頼日	年	月	日
金額	*	*	*
先方銀行	*****		
お受取人	*****		
番号	*****		
ご依頼人	*****		
手数料			

(銀行切りはなし)

依頼日	年	月	日
振込指定	電信	振込	手数料
先方銀行	*****		
預金種目	口座番号	*****	
お受取人	口座名	*****	
住所	*****		
電話番号	*****		
ご依頼人	口座名	*****	
住所	*****		
電話番号	*****		
手数料	*****		

上記の金額正に
受取りました。
取扱店銀行 取扱銀行 印 紙
支店 取扱印取扱銀行
取扱印

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 伊勢屋パン子	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	フロイカケイカンリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	ﾗｰﾌﾞﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	ﾗｰﾌﾞﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	ﾗｰﾌﾞﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツﾋﾞｼHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,228,525	

◎記号の説明

AA, AF入金
 FA, FF 振込
 C0, 1, 2, 3, 4 他店から
 TF, TO 取立
 BA, BF 支払

◎金額と表記の所を「」で囲み、「」内に入れた数字は、お支払いの金額と表示し、その外に「」を付したものは、お預かりの金額と表示します。

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 6 月 20 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	5, 5 1 3 円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピーカウント料 (令和5年5月1日～5月31日分) (6月支払分)
購 入 先	富士フイルムビジネスソリューションジャパン (株)
支 出 年 月 日	令和 5 年 6 月 20 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

437-0013
袋井市新屋 1 丁目 1-1
袋井市役所 5 F
袋井市議会 自民公明クラブ
議員控室

富士フイルムサービスクリエイティブ
事務サービス部

御中



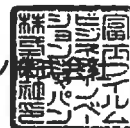
お支払のご案内	お支払約束日	2023年06月20日
	お支払方法	口座振替
	金融機関名	
	本・支店名	
	預金種目／口座番号	*****
	指定口座名	上記、お支払約束日に口座より 引落しさせていただきます。

備考：

請 求 書

様

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン



お問合せ番号 : 3301027988 電話 : 0120-069-840

15201 01008 07A 01008 07A 01 1 2
31 0531 01 0A0 510 1NK 0000 1/1 001 0

TCH

11901040 8319232 3301027988
01 3 001548 1

3301027988 3301027988

期 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 佐野屋パンチ	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	フロイカイクンリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾝｽ	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾝｽ	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾝｽ	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツヒシHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,228,525	

◎記号の説明

AA, AF入金
 FA, FF 振込
 C0, 1, 2, 3, 4 他社入金
 TF, TO 出金
 BA, BF 支払

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 7 月 20 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ
氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	4, 9 9 7 円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピーカウント料 (令和5年6月1日～6月30日分) (7月支払分)
購 入 先	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン (株)
支 出 年 月 日	令和 5 年 7 月 20 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

000127,000 000127,000

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 近野立替 *60,000		*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 近野屋パン子	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	クロイカケイカンリ *3,000,000		*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 近野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し *16,000		*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツﾋﾞｼﾞHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,228,525	

記号の説明

AA, AF入金
 FA, FF振込
 C0, 1, 2, 3, 4他店的人
 TF, TO入金
 BA, BF支払

○他店：本行の所管の店から入金した場合は「入金」として、
 とはせず、その店に支払したものである旨の記入をお願いします。
 ○入金：入金した店が「記号」の店に支払した場合は「入金」として

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 8 月 3 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ
氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 ⑩ 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	18,216円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピー機リース料 (再リース契約 年額) (8月支払分) 年額
購 入 先	シャープファイナンス㈱
支 出 年 月 日	令和 5 年 8 月 3 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

2023 年 6 月 17 日作成 0-1-5601K601677A (1) P. 1/ 1 (45)

4 3 7—8 6 6 6

静岡県袋井市新屋 1-1-1

袋井市議会 自民公明クラブ 御中

(1246 5601K601677A 1247) XD5-025

102-0083

東京都千代田区麹町5丁目1番地1

住友不動産麹町ガーデンタワー

シャープファイナンス(株)

事務センター お客様窓口

TEL:0570-003338

【営業時間 10時～17時（土、日、祝日を除く）】



平素は、弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げますので、ご確認の上お支払賜りますようお願い致します。
 万一、内容にご不審な点がございましたら、お問い合わせ番号をお申し出のうえ、
 右記までご連絡下さい。

ご請求金額をお支払期限〔金融機関非営業日の場合は、その翌営業日〕に、
右記ご指定口座より引落しさせていただきますので、
お支払期限の前日までにご入金をお願い致します。
お客様の情報を保護するため、口座番号は表示していません。

お問い合わせ番号		5601K601677A	
お支払期限		2023年8月3日	
ご請求金額(税込)		18,216円	
消費税税率別 請求金額 /内消費税等	D 10.0%	18,216円	1,656円
	合計	18,216円	1,656円
(ご指定口座)			

〔当月ご請求内訳〕（金額単位：円）

ご契約番号 ご契約形態	お支払開始日 回目 / 総回数	商品名 機種名 (数量)	ご請求金額 (税込)	税率	内消費税等	備考
5601K6016776 再リース契約	2023年 8月 3日 1回目 / 1回	デジタル複合機 DC-V2060CP-4T (1)	18216	D	1656	新NO 5601K601677A
税率 D=10.0%		合計	18216		1656	

下段：保守性

XD007

振込金
(兼手数料) 受取書

〈取引銀行へのお願い〉
太枠内を打電して下さい。

* * 掘 込 依 頼 書 * *

科目

依頼日	年 月 日									
金額	*	百	*	*	*	千	*	*	*	円
先方銀行	***** *****									
お受取人	*****									
番号	***** (*****)									
依頼人	*****									
手数料										円

(銀行切りはなし)

[illegible]

上記の金額正に
受取りました。
(取扱店)

銀行
支店

取 扱 銀 行
取 扱 印

取 投 銀 行

取 投 印

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 佐野屋パンテ	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R47支)	*12,591	329
05-04-14	FF	プロイカケイカンリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミヅｼHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ﾌﾗﾝｽﾌｨﾙﾑBI	*2,228,525	

記号の説明

AA, AF入金
 FA, FF 振込
 C0, 1, 2, 3, 4 他店へ入金
 TF, TO 振替
 BA, BF 支払

◎他店へ支払や所収する振替、入金した場合は、
 と表示し、その右側に支払ののちの残高を表示します。
 ◎お預かり金額は、お預かりの金額に「1」を付します。

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 8 月 2 1 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ
氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	2,833円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピーカウント料 (令和5年7月1日～7月31日分) (8月支払分)
購 入 先	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン (株)
支 出 年 月 日	令和 5 年 8 月 2 1 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

3301027988 3301027988

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 街野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 街野立替	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	フロイカケカシ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	フラファイルBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 街野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	シャ-フ°ファイナンス	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多分修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	シャ-フ°ファイナンス	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	フラファイルBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	フラファイルBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	シャ-フ°ファイナンス	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	フラファイルBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツヒ°HBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	フラファイルBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	フラファイルBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	フラファイルBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	フラファイルBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	フラファイルBI	*2,228,525	

記号の説明

AA, AF入金

FA, FF返済

C0, 1, 2, 3, 4他店入金

TF, TO引当

BA, BF受取

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 8 月 23 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	① 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	5 4 4, 1 4 0 円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	会派視察研修 9 名参加 有楽町「NPOふるさと回帰支援センター」 岩沼市「JOCA東北」 山形市「コパル（山形市南部児童遊戯施設）」 山形市「市役所（地域公共交通）」 令和 5 年 8 月 1 日～令和 5 年 8 月 3 日
購 入 先	東武トップツアーズ株式会社浜松支店
支 出 年 月 日	令和 5 年 8 月 23 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に 1 部提出してください。)

旅費（路程・運賃等）明細書

所属・氏名 :
期 間 : 令和5年8月1日
用 務 先 :
用 務 先 :

～ 令和5年8月3日

日	区 間	路程 (km)	旅 費 (円)								備考
			運賃	急行料金	特急料金	特別車両料金	車賃 (バス)	日当	宿泊料	合計	
8/1	袋井駅 }	8.8						1,500		1,500	
	掛川駅 }	229.3	9,130		3,930					13,060	
	東京駅 }	306.8			5,040					5,040	
	白石蔵王駅 }	27.4									
	岩沼駅								7,440	7,440	
8/2	岩沼駅 }	17.6	330					1,500		1,500	
	仙台駅 }									330	
	仙台駅前 } 高速バス	70.9					1,000			1,000	
	山形駅前								10,300	10,300	
8/3	山形駅 }	359.9			5,400			1,500		1,500	
	東京駅 }	229.3	9,460		3,930					5,400	
	掛川駅 }	8.8								13,390	
	袋井駅										
		800.2	18,920	0	18,300	0	1,000	4,500	17,740	60,460	

$$60,460 \times 9 = 544,140$$

自民公明クラブの視察の実際の行程表と違う箇所について次のとおりです。

- ・行き 袋井から岩沼までの距離数が長いため、東京駅で途中下車し、23区内は巡回費として日当支出で計算してあります。

東京からの新幹線ですが、仙台だと行き過ぎて戻りになるため、白石蔵王で下車し、普通電車で岩沼駅にで計算してあります。

(様式 2)

	会派代表者	経理責任者
確認		

	議長	副議長	局長	主幹 一次長	主幹 係長	係
供覧						

調査研究・研修計画書

令和5年6月30日

袋井市議会議長 鈴木 弘睦 様

会派名 自民公明クラブ
氏名 高木 清隆

調査研修 参加者氏名	太田 裕介 鈴木 賢和 黒岩 靖子 村井 勝彦 佐野 武次 鈴木 弘睦 戸塚 哲夫 山田 貴子 高木 清隆 《 計9名 》
出発・帰着	令和5年8月1日(火) ～ 令和5年8月3日(木) 《 2泊3日 》
調査研究 研修先	1:NPO法人ふるさと回帰支援センター 日程 令和5年8月1日(火) 10:00～11:30 「地方移住をめぐる現状と課題」について 2:ふじのくに大使館・東京事務所 日程 令和5年8月1日(火) 午後 表敬訪問 2:宮城県岩沼市 日程 令和5年8月2日(水) 午前9時00分～午前11時30分 「岩沼市全世代活躍できる地域社会プロジェクト」について 施設見学 3:山形県山形市 日程 令和5年8月3日(木) 午前9時30分～午前11時00分 「公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取り組み」について 施設見学
概算費用	544,140 円 (60,460円 × 9)

※ 視察工程表を添付してください。

(様式 2)

	会派代表者	経理責任者
確認		

	議長	副議長	局長	次長	係長	係
供覧						



調査研究・研修報告書

令和5年8月28日

袋井市議会議長 鈴木 弘睦 様

会派名 自民公明クラブ
氏名 高木 清隆

調査研修 参加者氏名	✓太田 裕介 ✓鈴木 賢和 ✓黒岩 靖子 ✓村井 勝彦 ✓佐野 武次 ✓鈴木 弘睦 ✓戸塚 哲夫 ✓山田 貴子 ✓高木 清隆 《 計9名 》
出発・帰着	令和5年8月1日(火) ～ 令和5年8月3日(木) 《 2泊3日 》
調査研究 研修先	1:NPO法人ふるさと回帰支援センター 日程 令和5年8月1日(火) 10:00～11:30 「地方移住をめぐる現状と課題」について 2:ふじのくに大使館・東京事務所・表敬訪問 日程 令和5年8月1日(火) 午後1時00分～午後1時30分 3:宮城県岩沼市・岩沼市役所 日程 令和5年8月2日(水) 午前9時00分～午前11時30分 「岩沼市全世代活躍できる地域社会プロジェクト」について 施設見学 ～ JOCA東北(保育園併設多機能型福祉事業所) 4:山形県山形市・施設見学 ～ 山形市南部児童遊戯施設・コパル 日程 令和5年8月2日(水) 午後4時00分～午後5時10分 5:山形県山形市・山形市役所 日程 令和5年8月3日(木) 午前9時30分～午前11時00分 「公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取り組み」について
考察特記事項	

(様 式 3)

調査研修 期間	令和5年8月1日(火) ～ 8月3日(木)	参加者 議員名	高 木 清 隆
1:NPO法人ふるさと回帰支援センター「地方移住をめぐる現状と課題について」 ア・活動内容 ・移住希望者向けの情報発信・自治体向けのノウハウ提供・各種田舎暮らし ・移住セミナーの開催・情報誌「100万人のふるさと」発行・ふるさと回帰フェアの開催等 イ・移住における新たな潮流 ～ 団塊の世代から若者へ ～ 県内移住の増加(何かあった時、親元に近いところが求められている) ・自分の好きなことをしたい若者が多い ・ネット社会 ・家族と過ごす時間の確保 ウ・課題 ・発信 ～ 移住したい人が、本当に求めている情報が十分に発信されていない ・受け皿 ～ 移住者と一緒に移住促進の取り組みを(市民を巻き込む) 所見 人口減少、少子高齢化が進む中、人口の低密度化が予想される地方都市においては、地域づくりの担い手の育成・確保が大きな課題の1つとなっているなか、移住・交流施策を通じて、課題解決に取り組む必要性が高まっている。しかしながら、移住したい人が、本当に求めている情報が十分に発信されていないというギャップもあることから、袋井市の良さを今一度、掘り起こし、袋井市における移住に関する補助施策の充実も含め、先進地の事例等を調査・研究すべきであると感じたところであります。 また、袋井市はふるさと回帰支援センターに加入しておらず、静岡県を介して、ふるさと回帰フェアに参加されているとのことでもあります。窓口相談者数が3年連続して静岡県が1位である状況にあるなか、これからの地域づくりの担い手として、従来からの地域住民だけではなく、移住者や地域外の人材等も含め、地域内外の担い手を広くつなぎとめ、活用していただくためには、地域や地域の人々と多様に関わる者である、「関係人口」の重要性が高まる中において、圏内移住の相談も増えているとのことから、本市における移住・定住施策への一助とするためにも交流・移住実務者の経験値を高めるためにも、加入を要望するものであります。 2:岩沼市「岩沼市全世代が活躍できる地域社会プロジェクト」について 「岩沼版 生涯活躍のまち」推進プロジェクト拠点 JOCA(ジョカ)東北施設を運営しているのは、青年海外協力隊の元隊員らでつくる、公益社団法人「青年海外協力協会(JOCA)」。東日本大震災の発災後、海外での活動経験を生かし、岩沼市の復興支援に入り、仮設住宅での孤立を防ぐ見守り活動や生活再建のための相談にあたってきたことから、2015年に岩沼市とまちづくりに向けての協定を結び、岩沼版 生涯活躍のまちづくりに取り組んで来ている。 1:施設 保育園併設多機能型福祉事業所			

2:事業規模 年間約7億円(総売上高)

3:実施事業 保育・福祉事業

- ・認可保育園(0歳～5歳) 90名
- ・障害者就労継続支援施設A型 15名
- ・障害者就労継続支援施設B型 30名
- ・生活介護(共生型) 20名
- ・高齢者デイサービス(共生型) 10名
- ・児童発達支援／放課後等デイサービス 10名
- ・相談支援事業所(基本相談・計画相談)

健康増進施設

- ・GOTCHA!WELLNESS(ゴッチャウエルネス) 会員560名

他、指定管理施設等運営

4:従業員 約150名(就労継続支援事業A型含む)

5:交流人口 約26万人／年(R4年度)

所見

増加する行政サービス需要に対し、持続可能なまちづくりを進めるためには、行政と住民・団体等による協働の推進が必要であると共に、地域に愛着を持ち、住み続けたいと思う気持ちや関わる意識を高めることが求められている。このような中、JOCAが進める、世代の違いも、障害や疾病の有無も、国籍の区別も、それらを「ごちゃまぜ」にして地域で暮らす、コミュニティづくりにへの取り組みについては、本市が取り組む、官民共創の基盤づくり事業より、数段先を見越した取り組みであり、JOCAの先を見越した取り組みについては、調査研究する必要性は大であり、次代を見据えたまちづくりを進める上では、大変参考になる取り組みであること話感じたところであります。

3:山形市南部児童遊戯施設インクルーシブプレイス コパル

山形市においては、雨天時や冬期間に子ども達がのびのびと遊べる施設が少なく、子育て中の保護者、特に在宅で子育てを行っている保護者から、乳幼児や小学生までの子どもと保護者が安全にのびのびと遊ぶことができ、子育てについての相談や保護者の交流が出来る機能を持った屋内型の児童遊戯施設に対する多くの要望があったことから、「子育てしやすい環境の整備」の主要事業として、新たな子育て支援拠点として、市南部に整備したものである。

1:施設整備 PFIにて施行、15年間の施設運営・維持管理

2:事業費 総事業費 38億5,611万8,065円

3:施設の概要

屋内施設

大型遊戯場・図書コーナー・図工コーナー・視聴覚コーナー・多目的室・体育館
休憩飲食コーナー・子育て相談コーナー・授乳室・ボランティアルーム・売店・更衣室
事務室・他

屋外施設

親水広場・イベント広場・屋外遊具・駐車場(普通車300台、障がい者用6台、バス3台)

4:施設の位置づけ

児童福祉法第7条に規定する「児童福祉施設」と児童福祉法第6条の3第6項に規定する地域子育て支援拠点事業としての「子育て支援センター」を併設する施設である

5:施設の目的

子育て中の保護者、特に在宅で子育てしている保護者に対して、子どもの遊び場、保護者の相談や交流の場を提供し、子育てを支援するとともに、軽運動のできる体育館を夜間に開放し、市民の健康増進と地域交流の活性化を図ること

所見

コパルが掲げる3つの柱は、

「生きる力」～ 好奇心や感性を大事にし、自ら考える力を育てます

「インクルーシブ」～ その人らしさを尊重し、ともに遊び、学ぶ環境をつくれます

「地域共生」～ 山形の自然と文化に触れながら、地域みんなで交流の場を築きますとある。子どもたちがそれぞれに興味を持った遊具にて声を出し、にこやかに親子で遊び、兄弟等と戯れて遊ぶ傍らで、絵本に見入っている子ども、見守るお母さん。プロポーザル提案も愚直に見直すなど、関係者の英知を出し合い、すべての子どもたちが「生きる力を育む、未来の遊び場」を具現化したとのことであります。

本市においても、浅羽支所を改修し、(仮称)袋井市こども交流館あそびの杜の取り組みに向け、公募型プロポーザルに取り組んでいる状況下にある。事業者の創造性や技術力、経験のもとに、基本計画策定業者を選定するとの事だが、基本計画策定、実施計画策定段階においても、次代の潮流の具現化はもとより、一昔前の時代、自然の中での遊で養われた共生する力等、良き時代経験値の参考に、選考委員会メンバーないでの議論や地域住民とのワークショップを継続的に開催し、計画策定受託事業者とも協議・議論することで、他市の子育て施設にはない、「子育てするなら袋井市」を後押しする施設になることを期待したい。

4::山形市「公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取り組み」について

山形市では、概ね15年後の公共交通ネットワークのあり方として、鉄道や路線バス、コミュニティバス等からなる「交通軸」の形成と、これらを繋ぐ「交通結節点」の整備を掲げ、市民や来訪者の移動ニーズにきめ細やかに対応した、効率的で効果的な公共交通の充実を目指し、既存の公共交通サービスとICT等の新技術を活用した新しい交通サービスを連携し、多様な交通手段の選択を可能とする、公共交通の利便性の向上に取り組んでいる。

袋井市においても、交通事業者との協議の基に、路線検索・予約・決済などを一括で行う仕組みの構築を含め、まちづくりの将来像を見据え、様々な移動ニーズに対応しながら、機能的・効率的で、わかりやすく使いやすい公共交通の構築に向けた取り組みが必要と感じたところであります。

(様 式 3)

調査研修 期 間	令和 5 年 8 月 1 日	参加者 議員名	太田裕介
	令和 5 年 8 月 3 日		

調査研究・研修結果及び所見

●NPO法人ふるさと回帰支援センター

『地方移住をめぐる現状と課題について』

東京都内に事務所を有する移住希望者と移住先をマッチさせる仲介支援センター。参画自治体や知名度の高さもあるため、袋井市としても移住定住者新規獲得のために窓口の一つとして協賛を行うのは一定の効果があると感じる。しかしながら、センターとして移住先を袋井市にと強く推してくれる訳ではなく、単純に希望者のマッチングとなるため、根本的には市の魅力向上、魅力発信力の向上が移住者増につながるのではない。市の魅力を伝える外部発信のツールとしてのセンター利用は今後検討を是非して行っていただきたい。

●JOCA東北

『岩沼市全世代で活躍できる地域社会プロジェクト』

全世代共生型の施設とそれに伴走する地域ぐるみのプロジェクト。

保育、学童、高齢者、障がい者、様々な立場の方にとっての居場所となり、利用する方々や地域の方々のボランティアによって運営がされている。年齢性別や障がいの有無などに関わらないという観点からも現在袋井市で検討されている浅羽支所の利活用のモデルケースとなるような事業ではないかと感じる。こういった施設ではボランティア参加者の負担が大きくなっていくことが散見されるが、施設にある入浴設備やスポーツジム等の利用に際し、ボランティアの方々に対しメリットを生み出しているところに今後の公共施設運営のスタンダードがあると感じた。

●コパル

『山形市南部児童遊戯施設』

袋井市にそのまま移設したいほど魅力のある施設。

極めて練られた設計とコンセプトにより、子供を中心に全世代が楽しめる施設となっている。豪雪地域特有の事情から生まれた「冬でも野山を駆け回って遊べる」というコンセプトではあるが、昨今のライフスタイルの変化を考えると袋井市においても取り入れていくべき考えである。また、EPSON はじめ多くの民間企業の協力を得ている。改めて民間の力が入った施設が生み出す魅力を再確認した。PFI 事業や Park-PFI などにより活用し魅力ある公共施設整備を提案していきたい。

●山形市役所

『公共交通の取り組みについて』

山形市におけるマイカーからの脱却、公共交通機関への転換を目的とした施策だが、市内バス会社の強い協力と元々の路線の多さ、袋井市の約3倍の人口という観点から成り立っているもので、そのまま袋井市で成り立つかと考えれば疑問符は残る。しかしながら交通の大動脈となる箇所への接続までの枝葉部分におけるシェアサイクルの利用など参考にする部分は多い。MaaS は次世代の総合的な移動手段ではあるが、現状の交通インフラだけでは成り立たない部分も多く、法改正も含めた抜本的な交通インフラの見直しと官民併せた協力体制の構築が必要不可欠であり、今後の大きな検討課題であると感じた。

調査研修 期 間	令和 5 年 8 月 1 日 ～	参加者 議員名	鈴木賢和
	令和 5 年 8 月 3 日		

調査研究・研修結果及び所見

ふるさと回帰支援センターは、地方自治体が地域への人材の回帰を促進するために設置した組織の一つです。日本を中心に、地方の活性化と人口の分散を目指す取り組みとして設置されています。

このセンターの主な目的は、都市部への人口集中を抑制し、地方経済や地域社会の活性化を図ることです。地方自治体は人材不足や高齢化といった課題に取り組んでいます。移住を希望する人々に対して地方の魅力を広く伝え、地方での暮らしや仕事のサポートを行うことで、地域への移住・定住を促進しようとしています。

主な業務内容としては以下のようなものが挙げられます。

- 1・情報提供：地方の魅力や特産品、観光スポットなどに関する情報を提供し、移住希望者が地方に興味を持つきっかけを作るための活動をします。
- 2・仕事・求人情報提供：地方の企業や農家などでの検討機会を提供し、移住者が地方で働けるようサポートします。
- 3・住宅・生活環境のサポート：住宅の仲介や子育て支援、生活に関する情報提供など、移住後の生活をサポートする仕組みを提供する。
- 4・地域交流・イベントの開催：地方住民と移住者が交流する機会を提供し、地域コミュニティの活性化を促進する。

ふるさと回帰支援センターは、地方自治体や関連団体と連携しながら、地域の課題を解決し、地域全体の発展に貢献することを目指しています。移住を検討する個人や家族、企業など、様々な人々が利用できる窓口となっております。

多機能型福祉事務所「J O C A（ジョカ）東北」は約2年前に開設されました。J O C A東北は、「ごちゃまぜ」をコンセプトにしています。世代の違い障害の存在を超えて、楽しく暮らすコミュニティを目指しているとのことです。地域に住む人々がお互いを認め合い協力し合えば、みんなが生きやすい世界になることを願っています。施設内は開放的な設計でつながっていて、温泉、足湯、そば屋、スポーツジムもあります。それらが地域の多様な背景をもつ人々を受け入れ、コミュニケーションを促進する場となっています。

地域の子どもたちと高齢者、障害のある人たちが一緒にコミュニケーションを楽しむ場が日常的になってきています。例えば、高齢者が子どもを助けたり、障害のある人たちと一緒に活動したりする光景が見られるようになりました。温泉の常連が障害のある人たちを見守り、多様な人たちが助け合いながら活動しています。

地域での関わり合いや協力が大切で、取り組みを尊重し、支えることで、豊かな暮らしや地域づくりが実現できることが示されています。J O C A東北のようなコミュニティ

が増えることで、地域社会の絆が強まり、活力のある場所として成長しています。

「コパル」とは、山形市南部に整備された児童遊戯施設の愛称です。正式名称は「シェルターインクルーシブプレイス'コパル」であり、略称は「コパル」と呼ばれています。

この施設は、子どもたちが安全に遊び、保護者が交流し子育てについて相談できる場所として整備されました。また、市民の健康増進と地域交流の活性化も目指しています。

愛称「コパル」は、以下のような意味が込められています：

- 1・「コ」はこどもの「こ」と、成長の「こ」を表し、子どもの成長を反映しています。
- 2・「パル」は、英語で「pal（友達）」や、イタリア語で「parco（公園）」という意味があります。この愛称は、施設が公園のように人々が集まり、交流し、遊び学び、多様性を発信する場所であることを表現しています。

「コパル」は、子育て支援センターや屋内遊戯場、体育館などの屋内・屋外施設を備え、児童福祉施設としても配備されています。また、PFI方式により民間事業者が運営・維持管理を行っております。整備費用の一部は国庫補助や起債によって賄われています。

「コパル」は地域の子育て支援や交流の拠点として活用されており、地域の子どもたちや保護者にとって大変重要な施設となっています。

山形市は、山形県内陸部に位置し、所在地は381.58km²です。市は東部で仙台市と隣接しており、山形新幹線、山形自動車道、東北中央自動車道などの高速交通網が整備されています。このため、南東北地域における交通の要衝として機能しています。

人口に関しては、山形市の約人口は平成17年（2005年）に25.6万人まで増加しましたが、その後減少に転じています。現在の人口は24.2万人となっており、減少傾向が続いています。一方では、世帯数は増加を続けており、平成17年（2005年）以降も1.6万世帯が増加しています。

以下は、山形市の公共交通に取り組むべき課題の詳細になります。

1. 高齢者などの不安と多様なニーズへの対応：

- ・高齢化による市内の高齢者に対して、移動手段を確保する必要があります。
- ・高齢者が利用する病院や教育施設へのアクセスの充実が必要です。

2. 公共交通の現状：【路線バス】

- ・特に高齢女性の利用を促進することが必要です。
- ・人口が高密度・増加する地域外でも公共交通の充実が必要です。
- ・低密な地域に対しても必要に応じた移動手段の確保が必要です。

3. 主な世代別の移動分布の特徴：【高齢者】

- ・高齢者向けの移動環境整備が必要です。
- ・自家用車依存を防ぐため、若いうちから公共交通に慣れ親しむために必要です。

現計画の取り組みと評価：

- ・利用者だけでなく、利用しない人にも情報発信を行う工夫が必要です。
- ・人口が増加している公共交通の利便性の高いエリアの外側への対策が必要です。

- ・高齢者外出支援の在り方についての検討が必要です。

公共交通に関する今後の見通し

- ・MaaSの導入に向けた基盤づくりが必要です。
- ・安心できる公共交通の利用環境の構築やキャッシュレス化などが必要です。

地域区の公共交通に関する計画調査:

- ・高齢者や障がい者、子育て世代、学生の通院や買物に対する移動支援が必要です。

バス利用者アンケート結果:【路線バス】

- ・買物や通院の利用が多く、サービスの継続が必要です。
- ・通勤・通学目的の利用者からの要望が強く、料金頻度の向上や定時性の確保が必要です。

- ・主婦・主夫や高齢者の利用環境改善が必要です。
- ・中心市街地での利用者の増加に合わせた見直しが必要です。

市民アンケート結果

- ・高齢者の移動ニーズへの対応が必要です。
- ・新型コロナウイルスの影響による「近場の移動」への対応が必要です。
- ・中心地区での公共交通の充実と若い世代の消費・滞在の促進が必要です。

これらの課題を解決するために、公共交通サービスの充実、利便性の向上、情報提供の充実、マルチモーダルな取り組み、そして将来にわたり持続可能な公共交通の展望を持つ必要があります。

研修報告書

令和 5 年 8 月 2 4 日

袋井市議会議長 鈴木 弘睦 様

会派名 自民公明クラブ

氏名 黒岩靖子

研 修 名	自民公明クラブ視察研修
研修先	東京都 NPO 法人ふるさと回帰支援センター・宮城県岩沼市・山形県山形市
期間	令和 5 年 8 月 日（火）～令和 5 年 8 月 3 日（木） 《 3 日間 》
研修内容 （結果） 及び所見	8 月 1 日 NPO 法人ふるさと回帰支援センターにて、「地方移住をめぐる現状と課題」について研修を受けました。 ふるさと回帰支援センターの目的は、ふるさと暮らしを希望する生活者の増加という時代の要請を受け 2 0 0 2 年 1 1 月に設立されたものです。東京交通会館 8 階にふるさと回帰支援センター、出展ブースやセミナーコーナーがあり、私たちが研修させている間にもふるさと移住の相談に来ている人もいた。地方の魅力や特産、観光スポットなどの情報提供のほか、仕事・求人提供、住宅・生活のサポートをする仕組みを提供していた。過疎化しつつある地方や、ふるさとの良さを知り、移住するための良いきっかけに大きな役割をしていると思いました。 8 月 2 日 宮城県岩沼市 「岩沼市全世帯活躍できる地域社会プロジェクト」について。

市営亀塚住宅跡地 保育園併設多機能型福祉事業所の GOTCHA !

WELLNESS はとても魅力的であった。「ごちやまぜ」をコンセプトにした老若男女体が不自由な人もそうでない人も、外国の方も誰でも利用が出来、温泉もあり、健康ジムもあり、飲食施設もあり、自分もぜひ利用させていただきたい、袋井にもぜひ作りたいと思える施設でした。

8月3日

山形県山形市「公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取り組み」について。

山形市南部自動遊戯施設・コパルを見学させていただきました。山形市には雨天時や冬期間に子ども達がのびのびと遊べる施設が少なく、乳幼児や小学生までの子どもとその保護者が安全にのびのびと遊ぶことが出来、子育ての相談や保護者が交流できる機能を持った屋内型の児童遊戯施設に対する要望が多かった。

車いすの人も使いやすいようにバリアフリーになっており、子ども達の感性を磨き、体を鍛えることができ、年間25万人以上の人が利用しており素晴らしい施設でした。

また山形市では公共交通を取り巻く状況として、高齢者などの不安と多様なニーズへの対応、利用が伸びない公共交通サービス、日常生活における自家用車の多様など様々な課題を抱えており、MaaS導入を始めた。MaaSとはモビリティのサービスのこと。対象となる区域は山形市全域とし、対象となる移動手段は、鉄道・バス・タクシー等の公共交通を基本としつつ、福祉輸送や民間送迎サービス、カーシェア・シェアサイクル・マイカーなどとの連携・役割分担も含めて取り扱う。

高齢者の免許返納、マイカーによる脱炭素への取り組みも含め、わが市も取り組んでいかなければならない事であると思う。

とても中身の濃い充実した視察研修でした。少しでもわが市に役に立つよう努力したいと思います。

(様式3)

調査研修 期 間	令和5年8月1日 ～ 令和5年8月3日	報告者 氏名	自民公明クラブ 村 井 勝 彦
-------------	---------------------------	-----------	--------------------

調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入)

1 研修結果

(1) 地方移住をめぐる現状と課題(NPO法人ふるさと回帰支援センター)

ア 従来は、リタイア後において地方への移住希望者が中心であったが、現状においては、20台～40台が全体の70%を占め、若い世代が中心であり、価値観が変化してきている。

イ この理由としては、雇用の不安定が要因として挙げられ、就労先の確保などが重要なファクターとなっている。

ウ 移住施策を進めるにあたっては、単に人口増を目的とするのではなく、まちに活力を与える施策を行う必要がある。

エ 移住施策を検討するにあたり、若い世代へのアプローチ(就労先の確保など)、自治体として何を移住戦略とするかの明確化、暮らしの見える化などについて、検討する必要がある。

オ その他として、地方移住を進めるのであれば、回帰支援センターにおいて、静岡県が週末に開催している「出張相談窓口」に袋井市においても参加し、相談窓口を設置してはどうかとのアドバイスをいただいた。

(2) 岩沼市全世代活躍できる地域社会づくりプロジェクト

ア この取り組みについては、人口減少社会の中に地域コミュニティを活かしたまちづくりを進める取り組みであり、当該事業を「JOKA東北にい業務委託し、保育・福祉事業、健康上新事業、市民参加の活動組織による活動、指定管理による施設運営、復興支援などに取り組んでいる。

イ JOKAは全国組織であり、震災を契機にJOKA東北を組織し、仮設住宅の見守りから始まり、被災した西浦地区の集団移転後のコミュニティへの支援など積極的に復興に向けた支援が行われた。

ウ 現在運営されている施設における交流人口は、1日あたり約500～600人、年間では258,830人(令和4年度実績)であり、岩沼市や他市からの交流が盛んとなり、復興支援などに大きな力となっている。

エ その他として、震災で大きな被害のあった岩沼市の復興状況などを視察した。担当職員の方から、改めて当時の震災の状況などを伺うとともに、被災地の集団移転事業や工業団地の形成などに取り組み日常生活を取り戻している様子が伺えた。

オ また、震災を教訓に市民を災害から守るため、市民一人ひとりが自覚をもって防災訓練を行っている様子も詳しく伺えた。

(3) 山形市南部児童遊戯施設「コバル」(山形市)

ア 当該施設は、山形市発展計画における重点施策である「子育てしやすい環境の整備」の主要事業として、子育てを行っている保護者からの要望を受け子育て支援の拠点として整備された。

イ 施設整備にあたっては、PFIにより建設され、市に所有権移転後、運営・維持管理については、BTO方式を採用し、令和4年4月より供用を開始している。

【裏面へ】

(様式 3)

調査研修 期 間	令和5年8月1日 ～ 令和5年8月3日	報告者 氏名	自民公明クラブ 村 井 勝 彦
調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入) ウ 当該施設は、「生きる力」、「インクルーシブ」、「地域共生」の3つを柱としているもので、この方針に沿ってすべての子どもたちが「生きる力を育む、未来のあそび場」として市民などに開放されている。 エ 更には、軽運動ができる体育館を併設し、夜間に市民の健康増進や地域交流の活性化を図っている。また、屋外には、車いすのまま乗ることができるブランコなど、誰にも優しい遊具なども設置され、ともに遊び、学ぶ環境が整備されている。 オ その他として、当該施設は、子育て環境整備の先進的事例として、全国から視察に訪れている状況と伺った。 (4) 公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取り組み(山形市) ア 公共交通については、多くの自治体が市民生活の質の向上を図るよう施策を展開しているが、今回視察した山形市については、「高齢者などの不安と多様なニーズへの対応」、「利用が伸びない公共交通サービス」、日常生活における自家用車の多用などの公共交通に係る課題への対応について、令和3年3月に地域公共交通計画を策定している。 イ 地域公共交通対策の特徴として、目的地までの交通手段の経路検索・予約・決済などが一括でできる仕組み「MaaS(マース)の導入」、電動アシスト自転車を自由に利用できるシェアサービス「コミュニティサイクルの導入」、高齢者の外出支援として「免許返納者に対してバス定期を1年間無償交付」などの多様な対策を講じている。 2 所見 今回視察した自治体についても、「人口減少対策」、「防災対策」、「子育て支援対策」、「地域公共交通対策」など、本市と同様な課題があるが、その課題解決に向けて積極的な取り組みを実施していたが、今回視察した取り組み等を参考として、今後、本市の課題解決に向けた取り組みについて研究等を行っていく。			

調査研修 期 間	令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 5 年 8 月 3 日	報告者 氏名	佐 野 武 次
-------------	------------------------------------	-----------	---------

調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入)

NPO法人 ふるさと回帰支援センター

① 地方移住をめぐる現状と課題について

NPO法人 ふるさと回帰支援センターは、2002年にふるさと暮らしを希望する生活者の増加という時代の要請を受けて、全国の消費者団体や労働組合等が主体となり設立された団体である。現在では、日本経済団体連合会や全国農業会議所等の様々な経済団体が参加団体に加わり、様々な移住相談や希望する就労形態に対応するための体制が構築されている。

相談実績は非正規労働者の増加やコロナ感染症による働き方の変化などから、年々増加しており、2022年は年間約5万2千件を取扱っている。近年の傾向としては、移住先と仕事をセットに地方都市への移住希望が多いものの、同じ県内への移住も進んでいるとの事や生活に密着した感性を持つ、女性からの相談が増えているとのことである。

センターには、本件も含め数多くの自治体が専属相談員や相談窓口が設置され、相談者への対応やセミナーなども開催されている。視察して感じたことは、移住者を人口増加対策の一環として考えるのではなく、希望を抱いてこの地に暮らす新たなふるさと住民として捉える必要があること、さらに移住先として望まれる自治体とするためには、まちの特徴や価値観（交通や教育環境など）を、まず明確にして対応していくことが肝要であると感じた。その他、ライン等を活用して移住者と地域と繋げていく事なども、移住者にとっては助かるツールとなるとの事であった。今後、空き家対策等を含めて施策を進めて行く上において、今回、教示いただいたことを活かしていきたい。

東京 ふじの国大使館・東京事務所 表敬訪問

荒天のため、会派長・議長で訪問

宮城県 岩沼市

① 岩沼市全世代活躍できる地域社会プロジェクト

岩沼市では、若年世代の減少による労働力・生産力不足をはじめ、満足できる行政サービスの展開や地域コミュニティの衰退等の課題に対応するため、地域再生計画「岩沼市まち・ひと・しごと創生推進計画」を策定し、①安定した雇用の創出と維持。②新たな人の流れをつくる。③結婚・出産・子育ての希望をかなえる。④共創のまちづくりと地域と地域の連携を基本目標に置いて各種の施策を展開している。これらを踏まえ、人口減少社会の中で地域コミュニティを生かした住みよいまちづくりを推進していくために、震災復興支援で活動していた、青年海外協力隊（J I K A）に業務委託し、「岩沼市全世代活躍できる地域社会プロジェクト」を進めており、これまで、コミュニティ形成支援や多文化共生に関する取組み福祉人材の掘起しなどが行われ、持続可能な活動の実現を目指しているところである。また、こうした活動の拠点施設としても利用されている保育園併設多機能型福祉施設「J O K A 東北」（J I K A の O B で構成する団体）を視察した。この施設には、保育園・地域子育て支援センター・障がい者高齢者デイサービス・入浴施設・運動ジム・飲食店などがあり、まさに、ごちゃまぜの施設ではあるものの、地域の高齢者や子ども、障がい者が自然と交流できる場所となっており、地域全体を巻き込んだコミュニティづくりの場としても活用されていた。地域づくりを進めて行く上においては、多様な考えがあるかと思うが、画一的な考え方にとらわれず、どんな形がベストであるのか、多面的かつ多角的な角度から検討していく必要があることを考えさせられる施設であった。

山形県 山形市

① 公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取組み

山形市は、人口約25万2千人で面積は約381K㎡のまちである。公共交通網は鉄道をはじめ、山形駅を中心にバス路線が放射線状に広がっている。また、交通空白地対策としてコミュニティバス（大半がタクシー会社に委託）が運行されていた。公共交通の課題としては、自家用車に慣れすぎた高齢者の増加や免許返納後の生活への不安など

による多様なニーズへの対応。また、鉄道利用者の減少や路線バスの運行補助及びコミュニティバスの運行経費が年々増加している傾向にあることに加え、東北6県の県庁所在地の中で自家用車の保有率がトップとなっており、公共交通利用者の減少に伴う負のスパイラル化が見受けられることであるとのことであった。

こうした事に対応するため、市民の様々なニーズにきめ細やかに対応した、効率的で効果的な公共交通の実現を目指し、様々な施策が検討・施行されている。まずは、まちづくりの将来像を見据えながら、交通結節点を中心とする移動ニーズに対応するためコミュニティバスのネットワークの確立を進めていた。また、目的地までの交通手段の経路検索・予約・決済などを一括で行うことができる「やまがたMaaS(らくのる)」を導入し、デジタルチケットの割引販売等の実施をはじめ、市内に主要なサイクルポスト(現在、41カ所)を設置し、電動アシスト自転車を利用したコミュニティサイクルを導入していたが、利用者の増加を図るためには、スマホが鍵となっているとのことであった。さらに、高齢者の外出支援策として、70歳以上を対象に路線バスか乗り放題となる「山形市シルバー3ヶ月定期券(通常3万円)」を低額負担で販売するとともに、免許証返納者に対してのタクシーチケット等の支援を実施していた。広大な市域を抱える中で、さらなる利便性の向上に向けて、様々な対策を検討し試行されているが、本市と同様に財源の問題をはじめ地域の特質などを考えると、抜本的な対応を図っていくためには、より一層の検討が必要であるとのことであった。これらの状況を視察し感じたことは、本市においても、単に補助金充当による支援を進めるのではなく、財政をはじめ市民や民間交通事業者をも含めた交通体系や体制の在り方を、より検討していく必要があると感じたところである。

② 山形市南部児童遊戯施設「コパル」視察

本施設は、雨天時や冬季において、子どもたちが安全にのびのびと遊べ、子育ての相談や保護者が交流できるような施設が欲しいという要望に基づいて、市内北部地域に設置した「べにっこひろば」の混雑解消と南部地域にも類似施設が欲しいとの要望に基づいて、山形県住宅供給公社と立替施工に関する基本協定を結び、PFI方式により施工した屋内型の児童遊戯施設である。建築面積は約3,300㎡で、施設内には大型遊戯場や図書コーナーをはじめ、視聴覚コーナー・相談室や授乳室などが配置されるとともに、デジタルアトラクションなども体験できるようになっている。これまでの私の感覚では、ケガをしないようになるべくフラットな施設が良いものと考えていたが、子どもたちがまるで屋外の公園のように過ごすことができるよう、施設内は起伏にとんでおり、当日、来場していた子どもたちも伸び伸びと楽しく過ごしていたことが大変印象的であった。来館者数も当初は15万2千人程度を想定していたが年間20万人が訪れている実績からも、施設の需要の高さが伺える。

現在、本市でも浅羽支所を活用した施設が検討されているところであるが、既存施設の利活用であることや財政的な面などを考慮すると、本施設のようにすることは難しいと思うが、デジタルアトラクションなども有効に取り入れ、来館者の満足度を高めていくことが必要と感じたところである。

【所見】

今回は、地方移住・地域の活性化・地域交通のあり方・子育て支援施設の実態などを視察させていただいたところであるが、自治体の規模も異なることから、直ちに先進地のようにすることは困難であるが、施策や施設の整備や運営に当たっての考え方については、私自身、まだまだ既定の概念にとらわれていることも多いため、そうした面からも、考え方をより柔軟に、また、リサーチなども十分に行った上で施策の制度設計や施設整備に当たる必要があると感じさせられ、大いに反省をしているところ

調査研修 期 間	令和 5年 8月 1日 ～ 令和 5年 8月 3日	報告者 氏名	鈴木 弘睦
調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入)			
研修内容 ①NPO法人ふるさと回帰支援センター「地方移住を巡る現状と課題」について 設立20年が経過、当初は農協経団連議長会などから支援頂き現在に至る。2014年増田レポートの2040年問題から地方移住が着目され2013年まちひとしごと創生から2014年から一気に各県のブースが設置され大きく相談件数も伸びてきた。最初は定年後の移住相談が多かったが近年は若者の相談が増えている。東京での若者の雇用体系、非正規や貧富の差から脱却するために地方移住を望む若者が多く、最近の傾向は女性の割合が伸び男女比は半々で子育て世帯が中心。センターを知る方法はネット検索が増えている。特に県内の中核市から県内の市町への移住相談が増えつつある。就労に関しては日本政策金融公庫と連携し紹介し事業承継や起業についても支援している。地方自治体は年間5万円で会員になれる会員のメリットは様々な情報取得や紹介件数も増える。コロナ禍での相談者の傾向は情報はネットで相談は対面がほとんど。努力している事例として自治体が移住ニーズに寄せる例もあるが、自治体の強みをアピールし移住後の職場環境や浜松市で行なっている移住コーディネーターなどを配置することも成功例との事だった。また、ICTを活用した相談体制の整備によって移住後の交流機会を作ることが移住者の安心につながり移住促進の鍵になっている。 袋井市としても人口維持策の移住促進を進める必要性そして移住者によるイノベーションにも期待出来る事から更に進めるべきと感じた。 ②岩沼市「岩沼市全世代が活躍できる地域プロジェクト」について 岩沼市の「全世代が活躍のまち構想」の拠点施設であるJOCA東北は青年海外協力隊のOB・OGらで構成された公益社団法人青年海外協力協会が運営している。施設内には運動ジム、天然温泉、そば処、保育園、子育て支援センター、障がい児と障がい者、高齢者の通所デイサービスなどがあり、多世代・多文化の老若男女が日常的に利用でき、イベントなども行われている。JOCAと岩沼市の関係は、たまうら西地区のコミュニティー支援を被災直後は行なった事から始まった。当施設の土地は岩沼市から無償で借上、建物はJOCAが建設、保育施設等建設する事により補助金等も活用している。施設コンセプトは(ごちゃまぜ)様々な市民が集る施設整備ちと考え方は浅羽支所の利活用に大変参考になる事例でした。 ③山形市「南部児童遊戯施設コパル」について 2022年4月に山形市に新設された児童遊戯施設「シェルター インクルーシブプレイス コパル」は3つの柱を掲げ、すべての子どもたちが生きる力を育む、未来の遊び場を目指している。 ①生きる力 = 好奇心や感性を大事にし、自ら考える力を育てる ②インクルーシブ = その人らしさを尊重し、ともに遊び、学ぶ環境 ③地域共生 = 形の自然と文化に触れながら、地域みんなで交流の場 コパルは、性別や年齢、人種や国籍、障がいの有無などを超え、異なる背景や特性を持つ子どもたちがともに遊べる「インクルーシブ」な遊び場で遊具には障がい者でも楽しめる物を配置していた。浅羽支所の利活用や今後の公園整備等の参考となる施設で自然と共存した施設デザインには公共施設整備への参考となる施設でした。			

調査研修 期 間	令和 5年 8月 1日 ~ 令和 5年 8月 3日	報告者 氏名	鈴木 弘睦
調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入)			
研修内容 ④山形市公共交通の取り組みについて 山形市もクルマ社会、こうした状況から脱却するために公共交通の再生を目指し山形地域公共交通計画を令和3年に策定。徒歩、自転車、民間交通事業者、公共交通をミックスさせ自動車に頼らなくても生活出来るまちづくりを進めている。 またMasSの導入についてはポータルサイトを導入し、路線バスと自主運行バスが共通で一日利用出来るデジタルチケットの販売もしている。また本年度からはタクシーとコミュニティーサイクルと組み合わせたデジタルチケットを導入。また今後はサイト内でデジタルマップやバス路線とバス停、コミュニティーサイクルの情報や観光地情報等を掲載予定。山形市の公共交通の先進的な取り組みには感心したがサービスの提供にはイニシャルコストとランニングコストが多額にかかる事から費用対効果について山形市の事業について追跡調査が必要だと感じた。			

調査研修 期 間	令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 5 年 8 月 3 日	参加者 議員名	戸塚 哲夫
調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入) 地方移住をめぐる現状と課題について NPO 法人ふるさと回帰支援センターは、地方自治体が地域へ人材の回帰を促進するために設置した組織で、地方の活性化と人口の分散を目指す取り組みをしている。活動内容は移住希望者向けの情報発信として(1)移住相談員による個別相談(2)各自治体が主催する地方暮らしセミナー(3)2005 年より東京で毎年開催しているふるさと回帰フェアである。また自治体向けのノウハウ提供として、毎年 2 月に自治体担当者向けの交流・移住実務者研修セミナーの開催、6 月に自治体新任担当者向けの研修を実施している。 視察研修では移住者希望の動向、ニーズ、移住希望地方ランキング、相談件数の推移をデータ、アンケート、グラフでの説明をいただいた。移住にあたっての課題として(1)仕事(2)住居(3)受け入れ体制の 3 点の説明があり、また新型コロナ禍での移住の可能性と課題も御教示いただきました。 幸い袋井市の現状は人口減となっていないが、将来を見通しふるさと回帰支援センターと関わっていくことは必要と感じたところです。 岩沼市全世帯活躍できる地域社会プロジェクトについて 多機能型福祉事務所「JOCA (ジョカ) 東北」 令和 3 年 3 月 JR 岩沼駅近くにオープンした。「ごちゃまぜ」を基本理念に入浴施設から飲食店、保育園、高齢者施設などが入り利用者の年代や背景も様々。相互の交流から地域の活性化につながっている。施設を運営しているのは、青年海外協力隊の元隊員らでつくる公益社団法人「青年海外協力協会 (JOCA)」東日本大震災で JOCA は海外での活動経験を生かし、被災地の岩沼市へ復興支援に入り仮設住宅での孤立を防ぐ見守り活動や生活再建のための相談などにあたってきた。 2015 年に町づくりについての協定を市と結び、その一環として JOCA 東北が生まれたとの説明があった。岩沼市が取り組む各地域をつなぐこの取り組みは袋井市が取り組む官民共創の基盤づくり事業の推進に大変参考になった。			

調査研修 期 間	令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 5 年 8 月 3 日	参加者 議員名	戸塚 哲夫
調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入) 山形市南部児童遊戯施設コパルの提案 正式名称シェルター インクルーシブプレイスコバル コバルは子育て支援センターや屋内遊技場、体育館などの屋内・屋外施設を備え、児童福祉施設も配備されている。車椅子の利用者に対する配慮、バリアフリーの工夫が各所に施されています 子供たちが安全に遊び、保護者が交流し、子育てについて相談できる場所で、併せて市民の健康増進と地域交流の活性化を目指している施設です。 現在、本市においても、こども交流館あそびの杜の整備を計画しており、基本計画策定事業者選定プロポーザルの募集中である。参考にしていきたい。			

調査研修 期 間	令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 5 年 8 月 3 日	参加者 議員名	戸 塚 哲 夫
-------------	---------------------------------------	------------	---------

調査研究・研修結果及び所見

(参加議員それぞれが記入)

公共交通の利便性向上による外出機会の確保に向けた取り組み

山形市の公共交通施設について

自家用車に頼らなくても誰もが快適に移動ができる環境の構築

公共交通の課題

①高齢者などの不安と多様なニーズへの対応

②利用がのびない公共交通サービス

③日常生活における自家用車の多用

・これらの課題は袋井市も共通している

山形市はこの課題に対し「山形市地域公共交通計画」を令和 3 年 3 月策定、公共交通ネットワークビジョンの 15 年後を示した。

計画の具体的な取り組み

①コミュニティバス等運行事業（モデル地区検討・実証運行の継続）

②MaSS（マース）の導入

ドア・ツー・ドアの移動に対し様々な移動手段・サービスを組み合わせて 1 つの移動サービスを提供するもの

ワンストップでシームレスな移動を可能とするもの

③コミュニティサイクルの導入

電動アシスト自転車を自由に利用できるシェアサービス

参考

※高齢者の外出支援について

山交バスが発行する地域連携 IC カードでのシルバー 3 ヶ月定期券の交付、70 歳以上の方を対象にタクシー券の交付

※運転免許証自主返納者タクシー券交付事業

タクシー券 2 万円分 1 回のみ

袋井市の取り組みの参考としたい。

調査研修 期 間	令和5年8月1日～ ～令和5年8月3日	参 加 者 議 員 名	山 田 貴 子
調査研究・研修結果及び所見(参加議員それぞれ記入)			
まず最初に認定NPO法人ふるさと回帰支援センターにお伺いしました。			
「いいいじゅー」と題して何気なくNHK総合テレビで放映されているテレビを見かけたことがあります。			
その番組制作に全面協力をしていると伺い親近感をいただきました。			
役員には、理事として加藤登紀子(歌手)や顧問として(故)菅原文太(俳優)の名が連なっていました			
活動として2002年にNPOを設立し、2005年ふるさと回帰フェア初開催、2015年東京オフィス業務拡大			
2016年44都道府県体制に、2022年東京都、千葉県が加わり相談員配置が44都道府県1政令となった。			
主な業務内容として情報誌「100万人のふるさと」の発行年4回。			
ふるさと回帰支援センターは、地方自治体や関連団体と連携しながら、地域の課題を解決し、地域全体の			
発展に貢献することを目指しています。移住を検討する個人や家族、企業など、様々な人々が利用できる			
窓口となっています。			
来場者の性別では、生活に密着した考えは女性の方が適していると思われるので			
ここ数年女性の相談が増えてきているそうです。			
ふるさと回帰支援センターの活動として、①移住希望者向けの情報発信			
移住相談員による個別相談・地方暮らしセミナー(先輩移住者による体験談などのセミナー)			
ふるさと回帰フェア※2022年度47都道府県 約350ブース出展 18572人参加			
②自治体向けのノウハウ提供			
自治体担当者向けの交流・移住実務者研修センター			
1.講義 2.省庁からの地域づくり・交流・移住定住関連2022年度解説3.移住・交流に関する			
事例報告 自治体新任担当者向け研修会			
センター利用者の年代が2008年から2014年ぐらいまでは、定年を迎え移住する方が多かったが、			
年々とくにコロナの感染拡大に伴って仕事も都会ですと、若者は派遣が多く地方へ行っても			
転職せずにテレワークなどが出来るようになり移住を考える若者20代から40代が増えてきている。			
センターを知った経緯として2022年は、インターネットが73.6%となっている。			
移住も県内が増えている。就労が企業が多いところとか、農業希望者も増えている。			
移住希望者は、静岡県が増えている。袋井市は会員になっていないと指摘されました。			
昔から住んで居る人は、地域の良さにきずかない人が多い。と言われましたが、			
今後、人口減少が起きても、活力のある袋井市をどうするかを考えることが大事で地域の活性化を			
考えることが大事だと思いました。			
その一環として移住者も取り入れることは必要だとも思いました。			
後、ふるさと回帰支援センター出店ブースを見学させていただきました。			
午後ふじのくに大使館・東京事務所に表敬訪問の予定でしたが、大雨と雷のため、代表者のみが			
訪問をすることとなり、宮城県岩沼市に向かいました。夕食歓迎会(会費制)で、岩沼市側は、市長・			

副市長・教育長・議員計15名・袋井市側は、市長・秘書課長・事務局長議員・議員計12名が参加。

2日目は、岩沼市にて全世帯活躍できる地域社会プロジェクトについて学びました。

多機能型福祉事務所「JOCA(じょか)東北」は、人も施設も「ごちゃまぜ」つながりの拠点として2年前に開設されました。

「JOCA(じょか)東北」は天然温泉・そば所・トレーニングジム・保育園・デイサービス就労支援などの事業を実施している総合施設です。世代の違い障害の存在を超えて、楽しく暮らすコミュニティを目指している所です。地域での関わりや協力が大切で、取り組みを尊重し、支えることで豊かな暮らしや地域づくりが実現出来ることが示されています。このような施設も袋井市には必要と考えます。

地域社会の絆が強まり、活力のある場所として検討するに値すると思いました。

次に、東日本大震災岩沼市の記録のパネルを見学し復興された様子がよくわかりました。

私も、震災1か月後にボランティアとして、写真の洗浄のお手伝いをさせていただきました。

あの時の面影は、すっかり変わり復興された様子に感動を受けました。

そして、千年希望の丘に行き、参列した一人一人が、鐘をならして、地震で亡くなった方のご冥福を祈りました。

3日目山形市に入りました。まず最初に「コパル」を見学しました。

「コパル」とは、山形市南部に整備された児童遊戯施設の愛称です。

この施設は、子ども達が安全に遊び、保護者が交流し子育てについて相談できる場所として整備されました。また、市民の健康増進と地域交流の活性化も目指しています。

とても素敵な建物で中も広々としています。子育て支援センターや屋内遊戯場、体育館などの屋内屋外施設を備え児童福祉施設として配備されています。車いすの人も使いやすくスロープが全て健常者と差別せず作られていました。屋外には、車いすのまま利用できるブランコも配備されていました。袋井市として計画されている「子どものための施設」も良いところは、是非利用してほしいと思いました。

山形市役所にて山形市の公共交通の取り組むべき課題について学びました。

「山形市の公共交通施策について」～自家用車に頼らなくても誰もが快適に移動できる環境の構築を目指して～と題して説明を受けました。

山形市が主体となって運行しているのは、ベニちゃん「西くるりん」「東くるりん」の運行そして郊外ではコミュニティバス高瀬線及び地域交通バス南部線の運行そして地域住民が主体となって運行している自主運行交通「スマイルグリーン号」です。コミュニティバス高瀬線は、年間40万人利用してます。

地域交通バス南部線は、10名乗りのジャンボタクシーを活用しています。

自主運行交通「スマイルグリーン号」は、地域の方々が協議会を作りデマンドタクシーとして年間2万5千人が利用しています。市は、協議会に助成をしています。

山形市の公共交通課題

①高齢者などの不安と多様なニーズへの対応

・自家用車に慣れすぎた高齢者の増加 ・免許返納後の生活の不安

②利用が伸びない公共交通サービス

・鉄道の利用者数は減少傾向、分担率も全体の1%程度

・路線バスの赤字補助、コミュニティバスの運行経費などの負担増

③日常生活における自家用車多用

・東北6県庁所在地の中で自家用車保有率No.1 ・公共交通利用者の減少に伴う「負のスパイラル」化

以上の点は袋井市にも共通する課題です。

新たに「山形市地域公共交通計画」を策定しました。令和3年3月に策定

〈山形市における公共交通ネットワークビジョン〉～15年後の未来像～です。

公共交通の骨格となる「交通軸」の形成と各骨格が交差する「交通結節点」の整備

市民の様々な移動ニーズにきめ細やかに対応した効率的な公共交通の実現を有機的に接続する。

新しい公共交通の利用イメージ(交通結線点、MASS、タクシー活用)

山形市は5年間の基本方針を固めました。

「まちづくりの将来像を見据え、多様な移動ニーズに対応しながら機能的・効率的で、わかりやすく使いやすい公共交通を順次整備します」

モデル地区検討事業として、各地区の住民ニーズを踏まえ、特定の商業施設や病院に絞ったルートを設定しているのが見受けられました。アンケートなどによりコースを選択しています。

地区によっては、大学生も利用できるようにしたり、ジャンボタクシーや小型タクシーなど利用しやすい工夫も取り入れています。ICカードも取り入れました。

MASSの導入

やまがたMASS「らくのる」とは

やまがたMASSが公共交通での移動を楽にするサービスであるとともに、気楽にまちなかへ足を運び回遊できることで、山形市が取り組む「居心地が良く歩きたくなるまちなかづく(ウォーカブルなまちづくり)」と連携し公共交通を利用すればするほど楽しむことが出来るサービスのことです。

販売中のチケット ・1日乗り放題デジタルチケットを数量限定で割引販売をする。

お買いもの特典付きでスマートフォンアプリにてデジタルチケットを販売しています。

コミュニティサイクルの導入

市内各所に設置されたサイクルポート間で、電動アシスト自転車を自由に利用できるシェアサービスです。

中心市街地の回遊時や山寺や黒沢温泉などの観光拠点にて使用でき利用時間は24時間(年中無休)

で41か所180台料金は50円/15分毎(24時間上限1600円)定額料金は、1000円/1日

令和5年10月からは、80か所 280台に拡張予定です。

その他、高齢者で免許返納者に対しては、1年間無料のバス定期券又は、タクシー券2万円分を支給

高齢者に対しては、バス定期券(3か月間)70から74歳までは、9千円、75歳以上は6千円で販売、

モデル事業として相乗りタクシーを利用すると個人負担は500円で、商店街などでお買い物ができ

1時間後には、迎えに来てくれるサービスなども行っている、高齢者に優しい街です。

今後袋井市も高齢者が増えてまいります。高齢者が気楽に買い物とか、外出できる公共交通が必要です。

高齢者は、もちろん子ども達も便利で助かると言える公共交通を地区ごとに考えて、優しい街袋井、

そして近い将来自家用車に頼らない生活が出来るように課題に取り組んでいきたいと思いました。

とても参考になる研修が出来ました。

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 9 月 20 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ
氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	3, 2 5 7 円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピーカウント料 (令和5年8月1日～8月31日分) (9月支払分)
購 入 先	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン (株)
支 出 年 月 日	令和 5 年 9 月 2 0 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 佐野立替パン子	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	プロイカイケイナリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ラジオフィルムBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	シャープファイナンス	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多石修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 多石修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	シャープファイナンス	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ラジオフィルムBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ラジオフィルムBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	シャープファイナンス	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ラジオフィルムBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツヒラHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ラジオフィルムBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ラジオフィルムBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ラジオフィルムBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ラジオフィルムBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ラジオフィルムBI	*2,228,525	

◎ 記号の説明

AA, AF ……入金
FA, FF ……振込
C0, 1, 2, 3, 4 ……他記号
TF, TO ……貸付
BA, BF ……支払

◎ 記号: 未記入のものは、お支払いの金額と見做す。
とあるし、その右側に払戻しのある金額の「戻金」を示す。
なお、お支払いの金額は、記号の右側に「入」を示す。

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 9 月 30 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 ② 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 7 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	17,500円 /
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	鈴木弘睦議員参加 袋井～東京 東京～袋井研修旅費 令和5年6月28日
購 入 先	J R 東海
支 出 年 月 日	令和 5 年 9 月 30 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

路 程 ・ 運 賃 明 細 書

月 ・ 日	区 間	路程(km) 換算キロ	運 賃	新 幹 線 特急料金	車 賃	日 当	宿 泊 料	参加費	計
6月28日	袋井 ~ 掛川	8.8	4,070			1,500			5,570
	掛川 ~ 東京	229.3		3,930					3,930
									0
	東京 ~ 掛川	229.3	4,070	3,930					8,000
	掛川 ~ 袋井	8.8							
	計	476.2	8,140	7,860	0	1,500	0	0	17,500

LIVeNT 2023

AMLEX 2023

第6回

Japan Sports Week

第6回

自治体・公共 Week

申込がお済みの方

申込の追加・変更
登録券の発行はこちら

マイページログイン

ご案内

よくある質問

他セミナー案内

eスポーツビジネスセミナ

来場希望の方

LIVeNT
招待券を申込む
VIP招待券を申込む
(特典付き・無料)

AMLEX
招待券を申込む
VIP招待券を申込む
(特典付き・無料)

Japan Sports Week
招待券を申込む
VIP招待券を申込む
(特典付き・無料)

自治体・公共 Week
招待券を申込む
VIP招待券を申込む
(特典付き・無料)

展示会案内

LIVeNT

AMLEX

Japan Sports Week

セミナープログラム

キーワードで検索する

検索条件クリア

ライブ・エンタ ーテインメント	イベント	音響・照明	レジャー海外	レジャー国内
スポーツビジネ ス	スポーツ施設	テクノロジー	コンディショ ニング・トレ ーニング	コーチング・育 成
DX	地方創生	スマートシティ	防災	インフラメンテ ナンス

日付で検索する

06月28日

06月29日

06月30日

自治体・公共 Week 基調講演

無料

2023年06月28日（水） | 10:00 ~ 10:45

G-K1 地域活性化への総合戦略

2023

0件選択中

お申込みページへ

デジタル田園都市国家構想総合戦略～デジタルの力で実現する地方創生～



内閣官房

内閣審議官／デジタル田園都市国家構想実現会議 事務局次長
市川 篤志



デジタル田園都市国家構想
DIGIN

講演内容を詳しく見る

このセミナーを登録

自治体・公共Week 特別講演

無料

セミナー企画・協力

ライブ・エンターテインメントEXPO
アドバイザーコミッティー委員

Japan Sports Week
アドバイザーコミッティー委員

2023年06月28日（水） | 15:00～15:45

G-2 未来へつなぐ地域防災

防災

経験と教訓から神戸市が取り組む防災・減災



兵庫県神戸市

市長
久元 喜造

講演内容を詳しく見る ▾

このセミナーを鑑賞

自治体・公共Week 自治体職員向けセミナー

無料

2023年06月28日（水） | 12:30～13:30

G-1 DX推進担当者向けセミナー

DX

福岡市のDX推進について～申請主義からプッシュ型行政への転換に向けた新たなチャレンジ～



福岡県福岡市

総務企画局 DX戦略部 DX戦略課長
安川 浩平

講演内容を詳しく見る ▾

利用者と職員、双方の負担を減らそう！北海道北見市の窓口業務改革



北海道北見市

総務部 人材育成主幹
及川 慎太郎



講演内容を詳しく見る ▾



※敬称略。セッションの録音、写真・動画撮影などは一切禁止させていただきます。

都合により講師、プログラムの内容に多少の変更がある場合、およびテキスト配付の無い場合もございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

その他ご質問などありましたら事務局までお問合せください。

受付時間 10:00~18:00 土日祝を除く

☎ 03-6321-2077

✉ live-con.jp@rxglobal.com

Copyright © by RX Japan Ltd. (Formerly Reed Exhibitions Japan Ltd.) All rights reserved.

(様式2)

主幹 主幹

確認	会派代表者	経理責任者
		

供	議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係
覧						

調 査 研 究 ・ 研 修 計 画 書

令和 5年 6月 21日

袋井市議会議長 鈴木 弘睦 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 鈴木 弘睦

参加予定議員名	鈴木 弘睦 《計 1 名》
期 間	令和5年6月28日 (水) ～ 令和5年6月28日 (水) 《 0 泊 1 日 》
調査研究研修先	主催 RX Japan株式会社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー11階 会場 東京ビッグサイト東展示棟 東京都江東区有明3-11-1 テーマ 地域の未来につながる出会いを 自治体・公共Week 2023 地域活性化への総合戦略 デジタル田園都市国家構想総合戦略 ～デジタルの力で実現する地方創生～ 内閣審議官デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長 市川篤志 氏 福岡市のDX推進について申請主義からプッシュ型行政への転換に向けた新たなチャレンジ 福岡市総務企画局 DX戦略部DX戦略課長 安川浩平 氏 利用者と職員、双方の負担を減らそう！北海道北見市の窓口業務改革
概 算 費 用	17,500 円

※ 視察行程表を添付してください。

調査研究・研修の目的及び市政との関連性
(調査研究先・研修先ごとにそれぞれ記入)

自治体・公共Week2023 東京ビッグサイト
東京ビッグサイト東展示棟 東京都江東区有明3-11-1

RX Japan株式会社主催による自治体・公共Week 2023は、住みやすい街づくり・地域の活性化・自治体業務の効率化などにつながる各種サービスや製品についての広報や展示から最新トレンドなどの情報収集を本会場にて一括で収集が出来る。

また、会場ではセミナーも行われる。内容については、
内閣審議官デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長 市川篤志 氏による
地域活性化への総合戦略 デジタル田園都市国家構想総合戦略
～デジタルの力で実現する地方創生～

福岡市総務企画局 DX戦略部DX戦略課長 安川浩平 氏による
福岡市のDX推進について申請主義からプッシュ型行政への転換に向けた新たなチャレンジ

北海道北見市総務部人材育成主幹 及川慎太郎 氏による
利用者と職員、双方の負担を減らそう！北海道北見市の窓口業務改革

袋井市の施策と方向性が一致している内容のセミナーが開催される。
今回の受講によって業務のデジタル化や業務の効率化など袋井市の施策を加速化させる内容だと思われる。
特にデジタル田園都市国家構想総合戦略については、議員として知見が少なく今後の地方創生の柱となる内容ですので、今後の議会の議論のために情報収集を行なって参ります。



(様式3)

確認	会派代表者	経理責任者
		

主幹主幹						係
供	議	副	局	次	係	
覧	長	議	長	長	長	
						

調査研究・研修報告書

令和 5年 6月 28日

袋井市議会議長 鈴木 弘睦 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 鈴木 弘睦

参 加 議 員 名	鈴木 弘睦 《計 1 名》
期 間	令和5年6月28日（水） ～ 令和5年6月28日（水） 《 0 泊 1 日 》
調査研究・研修先	会場 東京ビッグサイト東展示棟 テーマ 地域の未来につながる出会いを 自治体・公共Week 2023 地域活性化への総合戦略 デジタル田園都市国家構想総合戦略 内閣審議官デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長 市川篤志 氏 福岡市のDX推進について申請主義からプッシュ型行政への転換に向け た新たなチャレンジ 福岡市総務企画局 DX戦略部DX戦略課長 安川浩平 氏
考察特記事項	

(様 式 3)

調査研修 期 間	令和5年6月28日 ～ 令和5年6月28日	報告者 氏名	鈴木 弘睦
調査研究・研修結果及び所見 (参加議員それぞれが記入)			
講演テーマ ～デジタルの力で実現する地方創生～ 地域活性化への総合戦略 デジタル田園都市国家構想総合戦略 内閣審議官デジタル田園都市国家構想実現会議事務局次長 市川篤志 氏 所見 昨年末に決定したデジタル田園都市国家構想の総合戦略によって、個人や企業が地方への移住や移転などに向けた関心が高まっている。この好機を逃す事なく地方自治体は、デジタルの力も活用して地方創生の取組を加速化している。国の目指すデジタル田園都市とは「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」であり地方自治体はこの5年間の中でデジタル社会の実装に向けた取り組みが可能となるインフラ整備を進める必要性を感じた。今年度策定予定の第1次デジタル推進計画や来年度策定作業に入る総合計画、総合戦略に向け柱となるデジタル田園都市国家構想について研鑽を重ねて参ります。 講演テーマ ～福岡市のDX推進について申請主義からプッシュ型行政への転換に向けた新たなチャレンジ～ 福岡市総務企画局 DX戦略部DX戦略課長 安川浩平 氏 所見 福岡市は全国の自治体の中で「ハンコレス」をいち早く完了し、行政手続きのオンライン化としてオンライン可能手続きの約90%を達成。市民サービスのデジタル化としてはリモート窓口を市内各公民館で実施し市役所と公民館をテレビ電話で繋ぎ各相談を受けている。また、プッシュ型行政への取り組みは、福岡サポートと言う事業を展開、子育て教育福祉健康医療の情報をマイナンバーと紐付け情報提供している。またサイト内のデジタル身分証を提示すると図書の貸し出しや年齢に応じた公共施設料金の割引が受けられる。福岡市のDXに関する最新の取り組み事例は今後袋井市のデジタル関連事業への参考となった。 講演テーマ ～利用者と職員、双方の負担を減らそう！北海道北見市の窓口業務改革～ 北海道北見市総務部人材育成主幹 及川慎太郎 氏 所見 デジタルを活用した業務改革は、単にシステムを導入するだけではなく、職員自ら仕事の中身や手順など地道な見直しが必要でフローを変えるフロー作りから始めたとの事でした。また書かないワンストップ窓口とは、各ライフイベントでの手続きについてワンストップ化を目標にし各課によって違った申請書を先づは統一化、それを切っ掛けに業務改善が進んだとの事でした。書かない窓口の取り組みは利用者(市民目線)にたった取り組みで、この北見市の取り組みについて袋井市でも取り入れる必要性を感じた。また、改革や改善を進めるには沢山の越えてきた壁やコツなど、経験談を交えた講演は分かりやすい内容だった。今後も北見市の取り組みを追跡して参ります。			

(様 式 4)

物 品 購 入 等 支 出 報 告 書

令和 5 年 10 月 20 日

会派代表者 高木 清隆 様

会派名 自民公明クラブ

氏 名 太田 裕介

項 目 (該当項目に○印)	1 調査研究費 2 研修費 3 広報費 4 広聴費 5 要請・陳情活動費 6 会議費 ⑦ 資料作成費 8 資料購入費 10 事務所費 (9 人件費は別の任意様式)
金 額	2,594円
支出にかかる内訳 ➤ 品名 ➤ 数量 ➤ 年月日 等	コピーカウント料 (令和5年9月1日～9月30日分) (10月支払分)
購 入 先	富士フィルムビジネスイノベーションジャパン (株)
支 出 年 月 日	令和 5 年 10 月 20 日

※裏面に領収書添付

(会派の広報は、発行後議会事務局に1部提出してください。)

145000

年 月 日	記号	お支払い金額	お預かり金額	差し引き残高	備 考
05-04-11	AA	預金機 佐野立替	*60,000	*1,051,602	329
05-04-11	BA	✓ *32,505	CD 伊勢屋パンチ	*1,019,097	329
05-04-12	BA	*1,000,000	CD }	*19,097	329
05-04-12	BA	*6,506	CD } 市へ返戻(R4残)	*12,591	329
05-04-14	FF	フロイカイカカリ	*3,000,000	*3,012,591	
05-04-20	BF	✓ *5,551	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*3,007,040	
05-05-01	BA	*60,000	CD 佐野立替返金	*2,947,040	
05-05-08	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,932,136	
05-05-17	BA	*56,000	CD 多岐研修費	*2,876,136	329
05-05-17	AA	預金機 研修費戻し	*16,000	*2,892,136	329
05-06-05	BF	✓ *14,904	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,877,232	
05-06-20	BF	✓ *5,513	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,871,719	
05-07-20	BF	✓ *4,997	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,866,722	
05-08-03	BF	✓ *18,216	ｼｬｰﾌﾟﾌｧｲﾅﾝｽ	*2,848,506	
05-08-19	AF	利息	*10	*2,848,516	
05-08-21	BF	✓ *2,833	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,845,683	
05-08-23	BF	✓ *554,680	CD	*2,291,003	326
05-09-07	BF	*12,540	HC)ミツヒシHBL	*2,278,463	
05-09-20	BF	✓ *3,257	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,275,206	
05-10-20	BF	✓ *2,594	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,272,612	
05-11-20	BF	✓ *1,647	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,270,965	
05-11-20	BA	*32,000	CD	*2,238,965	
05-12-20	BF	✓ *2,648	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,236,317	
06-01-22	BF	✓ *7,792	ﾌﾗﾑﾌｨﾙﾑBI	*2,228,525	

◎ 記号の説明

AA, AF 入金

FA, FF 入金

CD 1234 入金

TF, TO 入金

BA, BF 入金